

三春町教育委員会  
事務点検・評価報告書  
(令和2年度対象)

令和3年11月

三春町教育委員会

## 目 次

I 点検及び評価書	1 ~ 1 0
II 事務報告書	
・教育課 学校教育グループ	1 ~ 1 3
・生涯学習課 生涯学習グループ	1 4 ~ 2 8
・生涯学習課 社会体育グループ	2 9 ~ 3 2
・生涯学習課 歴史民俗資料館	3 3 ~ 3 8
・生涯学習課 町民図書館	3 9 ~ 5 0
・生涯学習課 児童生活センター	5 1 ~ 5 8

# I 点検及び評価書



## 令和2年度 三春町教育委員会事務点検及び評価

### 【総括評価】

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症が教育行政に対して非常に大きな影響を及ぼした一年であったと認識します。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業中止という安易な方向とはせず、時を逃してはならない事業については、いかにして事業を実施するか知恵と工夫で鋭意努力された事実に敬意を表し高く評価します。

令和3年度から点検評価方法を定量評価方法に改訂されました。その考え方を令和2年度にも先んじて取り入れ、定量評価で事務点検・評価報告をまとめられたことを大いに評価します。

以下に取り組み事項の中で、何点か取り上げコメントさせていただきます。

### 学校教育

#### (1) 学校教育アドバイザー派遣事業について

教育専門家による、教師への「教える」から「学びをつくる」への大転換は、時間を掛けて取り組む改革と認識します。教師間の公開授業が活発に行われるのが重要と伺っております。授業において、子どもたちがいかに学び合いの中で学び、その学びが成立しているかを子どもの行動を観察して学ぶ研修と認識します。この改革は、今までの教育経験をいかに転換するかにかかっています。焦らずに時間に縛られることなく教育改革の成果を期待して待っています。

#### (2) 「自分には良いところがある」自己肯定感について

自己肯定感の調査について、残念ながら実施されませんでした。日本人の自己肯定感が低いのは、日本の文化が背景にあると言われていています。日本では、謙遜や謙虚が美德とされています。多感な時期、思考形成の困難な時期に、生涯恩師と言える先生と出会えるかで子どもの肯定感が左右されるのではないかと認識します。教師が子どもたちの個々の特長を見出し、その特長を伸ばし自信を芽生え自覚させることで、自己肯定感の認識に影響を与えたいと考えます。教師の情熱に期待します。

#### (3) 学校行事について

コロナ禍の学校行事で、卒業式・入学式・運動会・学習発表会・学習体験

旅行等、その時々一度しか体験できない児童生徒の思いに立って、いかにして実施できるかで教育委員会と学校が連携し、万全な対策で実施されたことを大いに評価します。

## 生涯学習

### (1) 行事イベント対応について

感染症の影響で、「うつくしま・みずウオーク大会」や「さくら湖マラソン大会」、各種イベント行事等に対し、行事の特徴を慎重に検討し開催中止・規模縮小開催を適切に判断し、対応されたことを大いに評価します。中でも成人式は多くの市町村では中止・延期の選択をしましたが、三春町は感染防止の徹底は元より、規模縮小等の最大限の対策を展開し成人式を開催しました。当時の成人者の思いは、一度しかない成人式を開催してもらったことへの感謝の言葉や思いが漂っていたように思います。

外部評価者 渡辺 勉

## 【総括評価】

### 教育課 学校教育グループ

令和2年度の重点施策の事業を推進するにあたり、豊かな心と文化を育むまちづくりを目標として、各事業を遂行されました。新型コロナウイルスの感染予防を実施しながらの目標達成は、難しい状況が多々あったのではと推測されます。

少子化に伴う教育の充実において、中妻小学校、沢石小学校に複式学級補正の教員を配置したことは、児童の人間形成に役立ち、保護者たちの不安を軽くすると考え、評価します。

確かな学力・生きる力の育成・環境の構築において、学校教育アドバイザー派遣事業・学力向上推進事業を実施したことは、積極的な取り組みだと思いません。

教育大綱の作成について、学校教育及び生涯学習についての展開と成果指標を示せたことと考え、これからの教育におおいに期待します。

小中学校に電子黒板が設置されたことは、ICT活用及び授業改善の推進に役立つと考えます。

### 生涯学習課 生涯学習グループ

学びへの参加のきっかけづくりの推進においては、新型コロナウイルス感染症の影響のため、4月24日から5月18日まで臨時休館とし、それ以降は感染症対策を講じ施設の提供を実施したことは、適切だったと思います。一方で、保健センターが休館となり利用団体が活動を休止しました。行政で話し合い、施設の利用できる期間を同じにできなかったのか疑問が残りました。

町民の生涯学習の推進においては、感染症対策をし、研修会、文化祭、成人式の開催など規模を縮小しながら実施したこと、関係者の苦労が思いやられました。

多様な主体との連携・協働の推進においては、三春町国際交流館の維持管理の運営が令和3年度から教育委員会の管理になったことは時代の流れと考え、早急に体制づくりが必要と思います。

「さくら湖自然観察ステーション」の維持管理と運営について、環境フォー

ラムの開催を集合せずにチラシで報告したり、活動をWEBで閲覧できるようにしたりしたことは、現代社会に適応していると考えます。

#### 生涯学習課 社会体育グループ

感染症対策のため、一部のスポーツ活動の中止や、感染症対策を講じての貝山プールの開放、町民トレッキング教室、町民スキー教室開催の判断は難しかったと思います。今後もスポーツに親しむ機会を町民に提供することを期待します。

#### 生涯学習課 歴史民俗資料館

国指定天然記念物三春滝桜を保護・保存するにおいては、適切な管理を評価します。三春町文化伝承館が国登録有形文化財になったのであれば、今後の維持、管理を議論していく必要があると思います。

文化財の保存、公開施設の管理運営においては、歴民と協働する生涯学習支援ボランティアなどの支援もあり、スムーズに運営できていると思います。

#### 生涯学習課 町民図書館

町民図書館の管理運営・整備は、徹底していると考えます。今後の継続活動を期待します。

読書活動推進事業は、朗読講習会や各種おはなし会でのボランティア活用や、沢石・御木沢地区館図書室でのテーマ展示実施など、積極的に活動していると考えます。

#### 生涯学習課 児童生活センター

感染予防のため、親子行事や地域の人を招いた交流事業が中止や内容変更になったことを残念に思います。また、まほらっこ教室運営事業においては、児童クラブのない地域で延長・長期休業中教室を実施したが、新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、夏休み期間の異学年交流や地域間交流事業が中止となったことを残念に思います。

外部評価者 降矢 由美子



## 令和2年度 三春町教育委員会事務点検及び評価

### 【点検整理表】

#### ◇ 学校教育

基本目標 「子どもの夢と教師の夢が共に育つ学校づくり」

A：十分成果が上がって良好に行われている  
 B：成果が上がって概ね良好に行われている  
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要  
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

#### ◎学校教育グループ

#### ○基本施策 夢が育つ学校教育の推進

##### □施策1 夢をささえる確かな学力の育成

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	全国学力テスト正答率全国平均を100とした場合の平均値	小95.5 中100.7	ベネッセ偏差値平均49.3	小1～中2 国語49.1 算数・数学48.5 英語50.3 (参考) 小5 国語49.6 算数48.2 中2 国語51.6 数学48.6	B
2	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための町内小中学校における授業研究の実施回数	1回	9回 (学校アドバイザー事業)	学校アドバイザー事業、ベネッセ学力調査、町学校教育研究会	B

##### □施策2 夢を育む豊かな心の育成

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	全国学習状況調査において、「自分には良いところがある」と回答した児童生徒の割合	小47.4% 中22.9%	実施せず	(参考) 令和3年度全国学調 小学校39.5 中学校35.3	—

##### □施策3 特別支援教育の推進

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	学校等訪問相談会回数	0回	27回	令和2年度より新規事業。依頼により、町内幼稚園・保育所・小学校・中学校の特別支援教育に関する訪問相談会	A
2	個別の指導計画に基づき、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導を行っている教師の割合	97%	89%	認め励ます指導の展開、各種検定の公費負担、学習コンテストの実施、グループ活動多用による他者評価の推進、特別支援訪問相談会	B

□施策4 教職員の資質の向上

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	授業研究を通じて授業方法の検討・改善を確実にしている教師の割合	67.90%	54.20%	学校教育アドバイザーの訪問により、授業研究の主旨をより意識し、改善を図ろうとする意欲が高まってきたことが考えられる。 (自己評価A該当)	A
2	教職員としての資質や指導力の向上に進んで努めている教師の割合	57.60%	52.34%	上記と同じように、学校教育アドバイザーの訪問により、自己評価の基準が若干厳しくなったことが予想される。(自己評価A該当)	A
3	ICTを活用して授業ができる教職員の割合	76.40%	66.20%	令和2年度末(R3・1月)に電子黒板、タブレット端末が配置されたため、令和元年度末調査と令和2年度末調査においてICTのカテゴリーが変わったことにより自己評価の指標が変わったことが考えられる。	B
4	時間外勤務時間目標達成率	89.60%	97.19%	ノー残業デーの励行、部活動の休養日の設定等、時間外勤務時間の短縮に努めた。	A

□施策5 一人一人の個性を生かす環境づくり

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	スクールカウンセラー相談件数(月あたり平均)	50件	40件	県派遣スクールカウンセラー3名を三春中、岩江小、岩江中に配置し対応した。	B
2	スクール・ソーシャルワーカー対応回数(年間)	440回	400回	県委託事業でスクール・ソーシャルワーカー1名を配置し対応した。	B

□施策6 つながる教育の推進

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	県立田村高等学校入学者のうち、三春町内出身者の割合	24.9% R2(2020)	20.6% R3入学	田村高校生の自己実現を紹介するチラシを作成し中学生に配布する等、田村高校の魅力を発信した。	B

○基本施策 夢を支える環境づくり

□施策1 地域と歩む学校づくり

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	小中学校への学習支援ボランティアのべ人数	のべ906人(1校あたり10～214人)	のべ325人	コロナ禍による学校への来校者の減少(児童生徒と直接触れ合う活動を伴う学習支援ボランティアの大幅減少)	B

□施策2 夢をかなえるたくましい心身の育成

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	う歯(むし歯)保有率	小43.4% 中43.5%	小46.4% 中36.5%	フッ化物洗口事業を継続して実施した。 (事業開始時う歯保有率(H28) 小60.8% 中47.5%)	B
2	肥満傾向及び痩身傾向割合	肥満(小・中) 11.6% 痩身(小・中) 1.2%	肥満(小・中) 12.6% 痩身(小・中) 2.4%	つながる食育推進事業を継続して実施した。 ・食生活に関するアンケート ・栄養摂取状況調査 ・体組成計借上げ及びオンラインセミナー	B

□施策3 教育施設の整備

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	学校図書室蔵書冊数	小50,187冊 中21,117冊	小51,008冊 中21,546冊	小学校651冊, 中学校327冊図書を購入し配架した。三春中に学校司書を1名配置。全小中学校の蔵書管理用パソコンとシステムを更新し, 学校司書を学校に派遣して蔵書台帳のデータ化を進める等, 環境整備を実施した。	A
2	校舎トイレの洋式化率	85.90%	86.40%	・岩江小学校1台洋式化 ・御木沢小学校1台洋式化	A
3	校舎等照明施設のLED化率	12.50%	15.00%	沢石小学校3・4年生教室, 5・6年生教室, 図書室, PC室LED化	A

□施策4 児童生徒の安全・安心な環境づくり

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	学校運営協議会実施回数	26回	24回	・三春小学校 4回 ・岩江小・中学校 4回 ・御木沢小学校 3回 ・中妻小学校 3回 ・中郷小学校 3回 ・沢石小学校 4回 ・三春中学校 3回	B
2	防災教室等の実施率(SDGsの学習会も含む)	100%	100%	全校で避難訓練を実施した。	B

## ◇ 生涯学習

基本目標 「全員参加型の生涯学習ネットワークの構築」

A：十分成果が上がって良好に行われている  
 B：成果が上がって概ね良好に行われている  
 C：成果が十分に上がっておらず改善が必要  
 D：成果がほとんど上がっておらず見直しが必要

### ◎生涯学習グループ

○基本施策 学び続け活躍できる社会の実現をめざす「ひとづくり」「つながりづくり」「まちづくり」

#### □施策1 学びへの参加のきっかけづくりの推進

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	一般教養講座	4回	2回	・ボランティアコーディネーター養成研修会 ・三春小学校音楽鑑賞教室	B

※パソコン講座前期・後期で2回実施予定だったが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

#### □施策2 多様な団体との連携と協働の推進

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	関係機関と協働した研修会の開催	0回	3回	生涯学習支援ボランティアの会共催事業「ヨガ教室」	A

#### □施策3 学習成果を地域の活動に生かす実践機会の促進

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	生涯学習人材ガイドの登録者数	0人	14人	人材ガイド周知用チラシ作成、配布	B

### ◎社会体育グループ

○基本施策 スポーツを通じた「健幸」なひとづくり

#### □施策1 社会体育事業の振興、各種スポーツ大会・教室の充実

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	スポーツ大会・教室参加人数	3,651人	124人	・市町村対抗軟式野球 30人 ・市町村対抗ソフトボール30人 ・ふくしま駅伝大会 28人 ・町民トレッキング教室 18人 ・町民スキー教室 18人  ・さくら湖マラソン大会、県民スポーツ大会、町民ソフト・家庭バレー大会、うつくしま・みずウオーク大会 感染症の影響により開催中止	B
2	スポーツ大会・教室開催、参加回数	12回	5回		B

#### □施策2 町民のスポーツ振興・拡充推進

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	三春町体育協会加入人数	1,169人	1,107人	13競技団体	B
2	子どもスポーツ教室・講習会開催回数	0回	0回	感染症の影響により未開催	—

□施策3 社会体育施設管理運営と利便性向上

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	社会体育施設の利用人数	66,654人	36,959人	感染症の影響により、施設の休館、活動自粛により大幅に減少した。	B
2	三春町民体育館のバリアフリー化対策	0件	0件	正面玄関入口スロープ設置と車いす者観覧対策を検討している。	C

◎歴史民俗資料館

○基本施策 文化遺産の伝承, 歴史と文化のまちづくり

□施策1 文化財保護の推進・支援

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	文化財の年間公開数	9件	7件	常設展示室内公開	B

□施策2 文化財の保存・公開施設の管理運営

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	友の会会員数	131名	120名	学習会8回, 文化財フォーラム, グループ活動	B

□施策3 展示公開・各種講座・広報活動の充実

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	資料館の年間入館者数	6,789人	3,312人	企画展2回・体験講座夏・秋実施 雪村シンポジウム	B

◎町民図書館

○基本施策 本に親しみ, 学びがあふれる「みんなの図書館」

□施策1 図書館活用推進

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	図書館入館者数	30,920人	24,605人	開館日数266日	B

□施策2 利用者サイドに立った図書館運営

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	レファレンス調査相談件数	1,093件	1,003件	所蔵調査や棚案内, 地域資料調査など	A

□施策3 歴史・文化を継承した社会づくり

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	図書館ボランティアが参画している学校・施設	14箇所	11箇所	出前おはなし会(小学校, 子育て支援センター, 児童クラブなど)	A

□施策4 各地域へのサービス充実

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	団体貸出冊数	9,485冊	9,665冊	小学校, 幼・保, 町内団体など	B

□施策5 学校との連携・学習支援

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	読書活動ボランティアのべ人数	356人	189人	読み聞かせ, 書架整理, 環境美化など	B

◎児童生活センター

○基本施策 保護者・地域・学校が一体となって推進する子どもの健全育成

□施策1 放課後子ども総合プラン推進事業

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	運営委員会開催	年3回	年3回 (内書面開催1回)	事業計画・安全管理方策, 事業実施後の検証や評価について意見を聴取し, 検討していただいた。	B
2	運営委員会による児童クラブ及びまほらっこ教室の視察回数	0回	0回	委員による視察(新型コロナ感染予防のため実施には至らなかった)	—

□施策2 放課後児童健全育成事業(児童クラブ事業)

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	放課後児童支援員の人数	11人	14人	放課後留守家庭となる児童が過ごす居場所として, 資格取得者を3名増員できたことにより, 安全で充実した支援や活動が実施できた。	A
2	地域に拓く事業(理科クラブ, おりがみ教室, 料理教室等)の実施回数	25回	18回	・体育館で遊ぼう 5回 ・料理教室 3回 ・ボランティア活動 2回 ・ミニシアター 2回 ・おりがみ教室 3回 ・理科クラブ 3回 (他コロナ感染予防のため7回中止)	B

□施策4 放課後子ども教室推進事業(まほらっこ教室)

成果指標		令和元年度	令和2年度	令和2年度事業内容	外部評価
1	まほらっこ教室ボランティアの人数	40人	35人	放課後の児童の安心・安全な居場所として地域のボランティアの方々の協力をいただき全小学校区にて活動を実施した。	A
2	避難訓練の実施回数(各教室)	1回	1回	各まほらっこ教室において避難訓練を実施し, 避難方法・注意事項の確認を行なった。	B

## II 事務報告書





# 教育委員会 教育課

## 学校教育グループ

### 令和2年度重点施策の実施状況

#### 目標3 豊かな心と文化を育むまちづくり

##### 1 少子化に伴う教育環境の充実

- 中妻小学校、沢石小学校に複式学級補正のための教員を配置した。
- 各校における学校運営協議会や町内各地区における地区教育懇談会を実施し、教育委員会や各学校の教育活動についての周知を図るとともに、地域との連携を深めた。
- 地域の人材を活用した体験活動等地域住民の教育活動を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、やむを得ず中止、活動を縮小した。

##### 2 確かな学力・生きる力の育成・環境の構築

- 学校教育アドバイザー訪問をとおして、授業改善、授業研究改善の推進を図った。
- 町内小中学校全校へ電子黒板の設置、児童生徒一人一台のタブレット端末を配置するとともに、タブレット等の研修会を実施するなど ICT 利活用のための基盤整備を行った。
- 指導主事を1名から3名(教育課2名、生涯学習課1名)として、指導体制の充実を図った。特に、特別支援教育担当の指導主事を配置し、各校への訪問相談を実施した。

##### 3 学校施設の整備

- 三春小学校渡り廊下を補修し、環境改善に努めた。
- 三春小学校体育館の屋根を補修し、雨漏りを防ぎ、快適な学習環境を確保した。
- 岩江小学校の和式職員トイレを洋式便器に取替え、環境改善に努めた。
- 御木沢小学校の男子小便器を一部取り換えることにより、異臭防止対策を行った。
- 御木沢小学校体育館の老朽化した放送設備を更新し、体育館内の行事に対応できるようにした。
- 中郷小学校の外壁改修を行い、環境改善に努めた。
- 沢石小学校の校地内に手すりを設置し、ユニバーサルデザインの環境づくりに努めた。
- 沢石小学校の教室内照明を一部 LED 化し、快適な学習環境を確保した。
- 三春中学校の経年劣化した電話交換設備を更新し、環境改善に努めた。

## I 総務

### 1 教育委員会構成

教育長 添田直彦、教育長職務代理者 渡辺勉、  
委員 宗像俊樹、委員 宮田美穂、委員 太田文枝

### 2 教育委員会招集回数及び提出案件

(1) 招集回数 定例会 8回 5・7・8・10・11・1・2・3月  
臨時会 2回 7・3月

(2) 提出案件 53件

- ①教育委員会の所管する学校、その他の教育施設の管理・運営に関すること。(規則の制定・改廃等)
- ②教育財産の管理に関すること。(予算を含む)
- ③教育委員会及び教職員の人事に関すること。(各種委員の委嘱を含む)
- ④学齢児童生徒の就学に関すること。(要保護及び準要保護児童生徒の認定)
- ⑤その他、教育施策全般に関すること。

3 小・中学校児童生徒及び教職員数 (令和2年5月1日現在)

(1) 小学校

(単位：人、学級)

学校名		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
三春小	児童数	43	47	50	45	49	50	(11)	284
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	14
岩江小	児童数	38	48	46	38	52	48	(18)	270
	学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
御木沢小	児童数	14	21	7	15	12	12	(9)	81
	学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
中妻小	児童数	8	9	7	8	6	10	(3)	48
	学級数	1	1	1		1		2	6
中郷小	児童数	8	8	12	11	8	16	(4)	63
	学級数	1	1	1	1	1	1	1	7
沢石小	児童数	5	8	10	6	6	8	(9)	43
	学級数	1	1	1		1		2	6
合計	児童数	116	141	132	123	133	144	(54)	789
	学級数	8	8	8	6	8	6	12	56

※ ( ) は内数

(2) 中学校

(単位：人、学級)

学校名		1年	2年	3年	特別支援学級	計
三春中	生徒数	96	111	93	(23)	300
	学級数	3	3	3	4	13
岩江中	生徒数	24	33	43	(0)	100
	学級数	1	1	2	0	4
合計	生徒数	120	144	136	(23)	400
	学級数	4	4	5	4	17

※ ( ) は内数

## (3) 教職員数

(単位：人)

学校名	教員	養護	事務	栄養	計	学校長名	町費支弁職員	備考
小学校	三春	21	1	1	-	23	猪狩 仁	4.0 (内部作業員1、介助員3)
	岩江	22	2	1	-	25	渡辺 和也	5.0 (内部作業員1、介助員4)
	御木沢	11	1	1	-	13	佐々木初江	2.5 (内部作業員0.5、介助員2)
	中妻	10	1	1	-	12	市川潤一	2.5 (内部作業員0.5、介助員1、非常勤講師1)
	中郷	11	1	1	1	14	今井不二子	2.5 (内部作業員0.5、介助員2)
	沢石	9	1	1	1	12	伊藤 栄	6.5 (内部作業員0.5、介助員3、非常勤講師3)
	計	84	7	6	2	99	-	23.0
中学校	三春	26	1	1	1	29	堂山昭夫	7.0 (内部作業員1、介助員5、司書1)
	岩江	12	1	1	-	14	高橋幸市	2.0 (内部作業員1、介助員1)
	計	38	2	2	1	43	-	9.0
合計	122	9	8	3	142	-	32.0	

このほか、英語教育助手2名(町)、スクールソーシャルワーカー1名(県委託)、日本語指導支援員2名(町)、スクールカウンセラー3名(県)、スクールサポートスタッフ8名(県)、特別非常勤講師(県)を配置。

## II 教育指導

### 1 学校経営懇談会 5回/年

各小・中学校長、教育長、教育次長、指導主事による教育上の諸問題の解決並びに学校経営充実のための検討や協議、情報交換を行った。前年度、年8回午前中に開催していたが、回数を減らすとともに、午後の開催として、学校で児童生徒を見守る時間を確保した。

第1回 令和2年度「三春の教育」、小中学校管理規則、学力向上推進計画

第2回 GIGAスクール、新型コロナウイルス感染症対策、学校評価、学校教育アドバイザー訪問

第3回 新型コロナウイルス感染症に関する衛生マニュアル、地区教育懇談会

第4回 令和3年度教育課程編成、新型コロナウイルス感染症対策、町学力調査

第5回 教育大綱、令和3年度指導の重点、教育課程届、卒業式・入学式、町教職員離任式

### 2 教頭会議 2回/年

各学校の実務の中心となる教頭と三春の教育への共通理解を図り、各校の教育活動の推進に努めるべく今年度より開催した。

第1回 臨時休業対応、町教委提出文書、学校訪問(要請訪問、管理訪問)

第2回 冬季休業に向けた生徒指導、新型コロナ感染症対策、次年度教育課程

### 3 学校教育アドバイザー派遣事業

急激に変化する時代に生きる子どもたちに必要な資質・能力を身につけさせるため、教師は「教える」から「学びをつくる」へ、児童生徒は「教わる」から「学ぶ」への転換が大切になる。「主体的・対話的で深い学び」すなわち、児童生徒が自ら進んで学び合い、考えを深め、資質能力を身につけることができるように、教育専門家を町内各小中学校に派遣し、子どもの見方や授業づくり、授業研究の進め方などについて具体的なアドバイスをいただき、授業改革に取り組んだ。

○村瀬公胤 先生(麻布教育研究所長)

2回

○永島孝嗣 先生(麻布教育研究所特別研究員)

5回

○佐藤 学 先生(東京大学名誉教授)

1回

○庄司康生 先生(埼玉大学教授)

1回

計9回

#### 4 学校教育研究会 7回/年

三春町教育委員会の基本方針である「子どもの夢と教師の夢が共に育つ学校づくり」を推進するために、2つのテーマに基づいて、研究に取り組んだ。

##### (1)「主体的・対話的で深い学びによる授業づくり」

研究員は在籍校において「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業研究を進めるとともに、学校教育アドバイザー訪問に同行し、4人グループでの協同学習、児童生徒の姿から学ぶ授業研究の在り方などについて学んだ。

研究員は、子どもの学びの事実からわかったことや自校の活動に生かせる点などを学校訪問レポートとしてまとめ、各学校での指導に生かしている。

##### (2)「三春のGIGAスクール ICTの利活用」

電子黒板やタブレット端末等の導入に先行して、研修用のタブレットを導入し、活用事例等の研究を実施した。

研究員の自校での実践例や収集したICT活用例は、視覚的にわかりやすくまとめ、各学校での取り組みに活用している。

#### 5 学力向上推進支援事業 通年

##### (1) 児童・生徒の学力の実態把握

新型コロナウイルス感染症対策のため、例年実施している全国学力・学習状況調査、ふくしま学力調査が中止になったものの、町学力調査については、児童生徒の学力の実態把握のため、教科や対象学年を変更して実施した。

○対象学年及び教科

- ・小学校1年～6年 国語・算数
- ・中学校1年～2年 国語・数学・英語

##### (2) 検査結果の分析

学力検査の結果から、思考力、判断力、表現力などの活用力の個人差が大きいという課題が明らかになった。指導に活かすべく、課題設定方法やグループでの話し合い方など授業内容の改善に取り組んでいる。

#### 6 コミュニティ・スクール（学校運営協議会）推進事業

前年度に引き続き、令和2年度についても、町内8校の小・中学校をコミュニティ・スクールとして指定し、7つの学校運営協議会（岩江小中は合同で開催）に保護者や地域住民が学校運営に参画した。

新型コロナウイルス感染症対策のため、紙面開催となった回もあったが、各校それぞれ年間3～4回の会議を開催し、積極的な話し合いが行われた。

#### 7 地区教育懇談会の開催

学習指導要領の改訂に伴う授業改革やGIGAスクール構想によるICT機器の整備も含め教育委員会の取り組みについて、地域との連携を図り、よりよい教育環境づくりを進めるために、町内7地区において、地区教育懇談会を実施した。

9～10月に、7地区で実施した。

地区名	日時	場所	参加者数
沢石地区	9月16日(水)19:00～20:15	沢石会館	22名
中妻地区	9月25日(金)19:00～20:30	中妻公民館	13名
三春地区	9月29日(火)19:00～20:25	三春交流館「まほら」	22名
岩江地区	10月7日(水)19:00～21:00	岩江センター	28名
要田地区	10月9日(金)19:00～20:00	大平荘	28名
御木沢地区	10月14日(水)19:00～20:30	御木沢地区交流館	22名
中郷地区	10月21日(水)19:00～20:10	中郷地区交流館	26名
計			161名

## 8 教育大綱の作成

三春町振興対策審議会をはじめ、社会教育委員の会議、生涯学習を進める町民会議等関係諸団体の意見をいただきながら、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく三春町の教育振興のための施策に関する基本的な計画「三春町第1期教育大綱」としてまとめた。

基本理念「学び、つながり、未来を拓く、三春の教育の創造」のもと、学校教育及び生涯学習の施策についての展開と成果指標を示した。

## 9 特別支援教育の取組

(1) 教育支援委員会による就学指導及び相談後の就学先

発達の遅れ等により就学における支援の必要性等を審議する三春町教育支援委員会における令和2年度の就学指導状況は以下のとおりであった。

○就学相談件数等

(単位：人)

指導依頼 受理人数	判定結果				相談後の就学先			
	通常学級 入級適	通級適	特別支援 学級入級適	特別支援 学校入校適	通常学級	通級適	特別支援学級	特別支援学校
48	6	8	33	1	10	8	29	1

(2) 特別支援学級・通級指導教室担当者会を年2回開催し、担当者が各校の児童生徒の夢が育つ学校づくりにむけ協議し共通理解を図った。また、本年度は切れ目のない支援にむけた連携をテーマに、年2回の特別支援教育関係担当者会を実施し、町内すべての幼稚園・保育所、小・中学校、関係行政部局である子育て支援課、保健福祉課、教育課のそれぞれの代表者が集い、共生社会の実現に取り組んだ。

(3) 通級指導教室を実施する三春小、岩江小、三春中では、通級指導教室説明会を実施し、それぞれの障がい等の改善・克服にむけた取組を保護者との連携のもと開始するとともに、全校に配置された特別支援介助員会を実施し、よりきめ細かな支援の実現に努めた。

## 10 新型コロナウイルス感染症対策

緊急事態宣言対象地域が全都道府県に拡大したことを受け、4月21日から5月19日までの期間、町内の小中学校を臨時休業とした。また、小学校水泳交歓会、小中学校音楽祭、運動会、修学旅行など、町の行事や各学校行事について中止、延期等の対応を行った。また、夏季休業期間を10日間、冬季休業期間を2日間短縮して、授業日を確保した。

さらに衛生管理マニュアルの周知を図り、学校の新しい生活様式を徹底し、感染防止に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症に係る偏見や差別を防止するよう指導に努めた。

# III 学校管理

## 1 GIGAスクール構想

(1) 三春町学校内ネットワーク（GIGAスクール）環境整備業務委託

- ・概要 町内の小中学校において、生徒が授業にて使用する端末を用いて円滑に授業を受講できる高速通信ネットワークを構築し、学校教育のICT化を図る。
- ・整備箇所 小中学校8校
- ・契約額 117,700,000円（うち消費税10,700,000円）
- ・国庫補助 25,123,000円  
(小学校費17,083,000円 中学校8,040,000円)

(2) 教育施設内ネットワーク環境整備業務委託

- ・概要 町内の教育関連施設において、小中学校に整備した校内ネットワークの補完として小中学生が課外授業等での利用を見据えたインターネット環境を整備し、学習の環境を提供するとともに、整備するネットワーク環境設備は、一般町民、町外の来町客へも開放する。

- ・整備箇所 三春交流館まほら、三春町国際交流館ライスレイクの家
- ・契約額 8,965,000円(うち消費税815,000円)

(3) 三春町立小中学校学習用タブレット端末等購入契約

- ・購入数 タブレット 10.2インチ iPad 1,404台
- ・契約額 107,030,000円(うち消費税9,730,000円)
- ・国庫補助 36,405,000円  
(小学校費23,400,000円 中学校13,005,000円)

(4) 三春町立小学校電子黒板購入

- ・目的 三春町における ICT 活用及び授業改善を推進するため、町立小学校に電子黒板一式の整備を行う。
- ・契約額 28,512,000円(うち消費税2,592,000円)
- ・調達物品 プロジェクタ型電子黒板・プロジェクタ吊り金具・映写兼用黒板張替え

(5) 三春町立中学校電子黒板購入

- ・目的 三春町における ICT 活用及び授業改善を推進するため、町立中学校に電子黒板一式の整備を行う。
- ・契約額 16,780,500円(うち消費税1,525,500円)
- ・調達物品 プロジェクタ型電子黒板・プロジェクタ吊り金具・映写兼用黒板張替え

## 2 新型コロナウイルス感染症対応 ICT 人材育成

(1) 「mBot」操作研修講師派遣業務

- ・概要 プログラミングロボット「mBot」の操作研修を2回実施
- ・契約額 286,000円

(2) 教育 ICT 研修講師派遣業務

- ・概要 授業支援ツール「MetaMoji Classroom」を使った模擬授業により、ICT 機器や授業支援ツール活用方法、授業づくりを学ぶ研修 2回実施
- ・契約額 440,000円

(3) GIGA スクール構想の実現研究事業交付金

- ・概要 小中学校教育研究協議会に対しタブレット端末の購入費用等を交付し、活用事例等の研究を実施。
- ・交付額 750,000円

## 3 学校の教育環境整備

(1) 学校施設・設備工事

施設及び設備の工事については、下記のとおり実施した。

○小学校

施設名	工事内容	備考	金額(円)
三春小学校	渡り廊下補修工事	経年劣化のため更新	4,383,500円
	体育館屋根補修工事	雨漏り対策のため補修	3,157,000円
岩江小学校	職員トイレ修繕工事	和式便器破損のため洋式化	803,000円
御木沢小学校	体育館放送設備修繕工事	経年劣化のため更新	638,000円
	トイレ改修工事	異臭対策のため、一部便器取替	1,815,000円
中郷小学校	外壁改修工事	経年劣化のため改修	11,143,000円
沢石小学校	教室照明修繕工事	明るさ確保のため一部LED化	2,079,000円
	手すり設置工事	児童への対応のため	770,000円
小学校合計			24,788,500円

## ○中学校

施設名	工事内容	備考	金額 (円)
三春中学校	電話交換設備更新工事	経年劣化のため更新	4,070,000円
中学校合計			4,070,000円

## (2) 学校施設の補修・修繕整備

施設及び設備の破損・故障等については迅速に対応し、下記のとおり適時修繕を行った。

## ○小学校

施設名	修繕内容	金額 (円)
三春小学校	通路復旧修繕	119,978円
	屋外水栓柱交換修繕	129,800円
	軽微な修繕 (下水枘蓋交換修繕 外9件)	274,510円
岩江小学校	女子トイレ給水配管修繕	440,000円
	軽微な修繕 (蛍光灯器具修理 外12件)	464,475円
御木沢小学校	プール循環ろ過装置修繕	286,000円
	理科室テーブル天板修繕	260,150円
	体育館高天井照明修繕	462,000円
	女子トイレ便器交換修繕	385,000円
	滅菌機交換修繕	171,600円
	電話交換設備更新修繕	753,500円
	軽微な修繕 (教室照明器具修繕 外8件)	303,149円
中妻小学校	配膳室天井塗装修繕	165,000円
	軽微な修繕 (プール滅菌機電源配線修繕 外6件)	280,280円
中郷小学校	鋼製建具修繕	187,000円
	地区音響装置設置修繕	110,000円
	非常放送用バッテリー交換修繕	140,800円
	昇降口扉シーリング修繕	224,532円
	軽微な修繕 (理科室蛇口修理 外9件)	365,530円
沢石小学校	プールろ過機用ろ布取替修繕	191,268円
	ネットフェンス設置修繕	136,000円
	軽微な修繕 (職員室照明修繕 外8件)	229,060円
小学校合計		6,079,632円

## ○中学校

施設名	修繕内容	金額 (円)
三春中学校	ガス漏れ修繕	157,300円
	冷暖房機部品交換修繕	319,000円
	調理室水栓ハンドル取替修繕	231,000円
	高圧受電設備配線修繕	440,000円
	軽微な修繕 (調理室LED照明器具交換修繕 外16件)	953,840円
岩江中学校	軽微な修繕 (教室LEDランプ取替修繕 外4件)	209,000円
中学校合計		2,310,140円

## (3) 学校施設保守管理の状況

各小中学校の施設及び設備に関する保守管理業務委託を実施し、適正な管理に努めた。

令和2年度の施設及び設備の保守管理業務委託料は、小学校で7,297,933円、中学校8,869,619円の合計16,167,552円であった。

#### (4) 備品購入

各小中学校の老朽化した備品の更新及び授業利用等による新規導入のため備品購入を実施した。購入金額は小学校6, 262, 245円、中学校1, 851, 600円、教育施設472, 230円の合計8, 113, 845円である。

#### (5) 児童の通学対策

中郷小学校の児童生徒の通学のため、スクールバスを運行した。空き時間には、校外学習の送迎等で当該バスを活用した。また、要田小学校北成田地区の児童の通学のためにタクシーを配車した。

### 4 児童・生徒の健康管理

#### (1) 健康診断

学校保健安全法施行規則に基づき、町内小中学校の児童生徒に内科健診、歯科健診、眼科健診、尿検査、心電図検査を実施した。

#### (2) フッ化物洗口事業

三春町を含む田村地方は、震災以降の生活環境の変化を含め、全国的にみても子どものむし歯有病率が高く、予防が喫緊の課題であった。そのため、平成28年度より福島県が実施する「子どものむし歯緊急対策事業」によるフッ化物洗口事業を活用し、むし歯予防を進めてきた。

令和2年度も子どものむし歯有病状況の低減を図ることを目的とし、上記事業を活用し町内のすべての幼稚園・保育所・小学校でフッ化物洗口を実施した。

また、中学校卒業まで継続することでむし歯予防効果が高くなるとの報告があることから、令和元年度に引き続き中学校においても町独自でフッ化物洗口を実施した。

なお、フッ化物洗口については、保護者から同意のあった園児・児童・生徒のみに実施している。

○「子どものむし歯緊急対策事業」によるフッ化物洗口事業

- ・対象者 満4歳(年中)～12歳(小学校6年生)
- ・実施頻度 幼稚園・保育所：週2回 小学校：週1回
- ・総事業費 265, 225円(内県補助額265, 000円)
- ・実施率 (町全体) 対象人数1, 025人 実施人数1, 008人 実施率98.3%  
各学校・施設ごとの実施率は次表のとおりである。

学校名	対象人数 (人)	実施人数 (人)	実施率 (%)	施設名	対象人数 (人)	実施人数 (人)	実施率 (%)
三春小	284	279	98.2	第1保	54	54	100
岩江小	274	268	97.8	第2保	34	34	100
御木沢小	81	81	100	北保育所	20	20	100
中妻小	48	48	100	岩江幼	62	62	100
中郷小	63	57	90.5	中郷幼	17	17	100
沢石小	43	43	100	三春幼保	45	45	100
小学校計	793	776	97.6	幼保計	232	232	100

### 5 教職員の健康管理

#### (1) 健康診断

労働安全衛生法に基づき、労働災害防止と快適な職場環境の実現ため、町内の小中学校に勤務する教職員を対象に実施した。



## (2) メンタルヘルス事業

教職員のストレスの程度を把握し自身のストレスへの気づきを促すとともに、職場の改善につなげて働きやすい職場づくりを勧めることによって、メンタルヘルス不調になることを未然に防ぐことを目的としたストレスチェックを、町内の小中学校に勤務する教職員を対象に実施した。

## 6 要田地区小学生の教育事務委託

要田地区の小学生の教育については「田村市と三春町の園児及び小学校学齢児童の教育事務の委託に関する規約」に基づき、田村市へ委託している。当該年度の委託費用に関しては、地方交付税の措置額において対応できたことから、三春町の負担はなかった。

## 7 学校保健特別対策事業

新型コロナウイルス感染症の感染リスクを最小限にするため、文部科学省が実施する学校保健特別対策事業費補助金を利用し、マスク等の保健衛生用消耗品や密閉・密集・密接を回避するためのパーテーション等の備品を購入した。

### (1) 感染症対策のためのマスク等購入支援事業

- ・総事業費 425,360円 (内国庫補助額 202,000円)

小中学校別内訳は次表のとおりである。

	品名 (需用費)	金額 (円)
小学校	不織布マスク 外	398,960
中学校	消毒用アルコール	26,400
合計		425,360

### (2) 学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業

- ・総事業費 8,106,752円 (内国庫補助額 4,000,000円)

小中学校別内訳は次表のとおりである。

#### ○小学校

	品名	金額 (円)
需用費	消毒用アルコール 外	4,081,420
備品購入費	健診用パーテーション 外	2,013,275
合計		6,094,695

#### ○中学校

	品名	金額 (円)
需用費	消毒用アルコール 外	1,409,147
備品購入費	健診用パーテーション 外	602,910
合計		2,012,057

### (3) 学校における感染症対策

- ・総事業費 2,268,628円

小中学校別内訳は次表のとおりである。

#### ○小学校

	品名	金額 (円)
需用費	非接触式温度計 外	928,008
備品購入費	オートディスペンサー 外	687,913
合計		1,615,921

## ○中学校

	品名	金額 (円)
需用費	薬用ハンドソープ 外	256,882
備品購入費	大型送風機 外	395,825
合計		652,707

## IV 教育振興

### 1 備品購入

各小中学校の老朽化した備品の更新及び授業利用等による新規導入のため備品購入を実施した。購入金額は小学校3,572,069円、中学校1,664,710円の合計5,236,779円であった。

### 2 特色ある学校づくり支援事業

各校が特色ある学校づくりを推進するための事業の企画、立案及び事業の実施に対して、円滑かつ着実な事業展開を促進するための交付金制度を25年度より設けている。

学校名	事業内容等	金額
三春小	ユニバーサルデザイン授業の推進、特設部活動の充実と地域で共に歩む学校づくり	270,000円
岩江小	望ましい集団づくりの形成。道徳・外国語科・キャリア教育など新しい教育課題への備え	270,000円
御木沢小	言語活動や体験活動の充実と発展的学習、郷土学習と地域とのふれあい活動	270,000円
中妻小	体験活動を通じた豊かな感性の育成と地域と連携した学習活動、本物に触れる体験学習	270,000円
中郷小	地域体験活動を通じたキャリア発達を高める教育活動の推進、より良い人間関係づくり	270,000円
沢石小	読書環境の充実、各種テストの実施等を通してより確実な学力向上を図る。少人数のメリットを生かした全校児童での活動推進	270,000円
三春中	音楽・文化・体育活動推進を軸とした生徒が主役の学校づくり、新三春中の伝統づくり	270,000円
岩江中	本物に触れる美術活動・体験活動による豊かな感性の醸成、地域と連携した学校づくり	270,000円

### 3 就学援助

#### (1) 要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費

経済的な理由により認定した要保護・準要保護児童生徒の数は、小学校137名（全児童総数の17.4%）、中学校69名（全生徒総数の17.3%）、就学予定者18名の計224名であった。このほか、原発事故等による被災者への支援は、小学校14名、中学校7名、就学予定者4名の計25名であった。就学援助費の額は、小学校10,864,901円、中学校10,801,767円、就学予定者1,123,320円の合計22,789,988円であった。

なお、被災者への支援は福島県被災児童生徒等就学支援事業補助金（10/10）2,231,732円を受けた。

## ○経済的理由

(単位：円)

区分	人数	学用品費等	給食費	入学準備金	計
小学校	137	2,478,639	7,403,700	-	9,882,339
中学校	69	4,532,547	3,964,290	※ 1,260,000	9,756,837
就学予定者	18	-	-	919,080	919,080
計	224	7,011,186	11,367,990	2,179,080	20,558,256

※区分中学校の入学準備金は、小学6年生21名に支給しているが、中学校費より支出しているため中学校に支給額を計上した。

## ○被災

(単位：円)

区分	人数	学用品費等	給食費	入学準備金	計
小学校	14	239,582	742,980	-	982,562
中学校	7	522,660	402,270	※ 120,000	1,044,930
就学予定者	4	-	-	204,240	204,240
計	25	762,242	1,145,250	324,240	2,231,732

※区分中学校の入学準備金は、小学6年生2名に支給しているが、中学校費より支出しているため中学校に支給額を計上した。

## (2) 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担軽減のため、就学奨励費を支給した人数は、小学校30名、中学校9名の計39名、奨励費の合計は1,357,574円であった。なお、特別支援教育就学奨励費国庫補助金551,000円を受けた。

(単位：円)

	人数	学用品費等	給食費	通学費	計
小学校	30	217,656	585,945	84,180	887,781
中学校	9	190,778	279,015	0	469,793
計	39	408,434	864,960	84,180	1,357,574

## V 学校給食

## 1 学校給食の年間実施回数

## (1) 小学校

(単位：日)

学校名	三春小	岩江小	御木沢小	中妻小	中郷小	沢石小
実施回数	194	194	192	192	195	196

## (2) 中学校

(日)

学校名	三春中	岩江中
実施回数	192	173

## 2 給食調理の概要

### (1) 調理及び配送業務

施設名	調理・配送業者	契約期間	令和2年度委託料(円)	3ヵ年総額委託料(円)
三春小学校	福島県郡山市中町5-1 株式会社 メフォス	平成31年度から平成33年度まで	11,388,300	34,061,370
三春中学校		平成30年度から平成32年度まで	11,517,000	34,236,900
さくら共同調理場 沢石共同調理場		平成31年度から平成33年度まで	16,401,000	49,053,900
岩江幼稚園 岩江小学校 岩江中学校		令和2年度から令和4年度まで	13,200,000	39,600,000

### (2) 年間調理食数

(単位：食)

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
三春小学校	3,169	2,851	6,652	6,646	2,517	5,900	6,472
三春中学校	2,722	3,055	7,476	7,125	2,379	6,172	6,968
さくら共同調理場	1,580	1,479	3,964	3,772	1,483	3,401	3,719
沢石共同調理場	1,959	1,603	4,364	4,126	1,564	3,574	4,265
岩江幼稚園 岩江小学校	3,559	3,151	8,541	8,338	3,270	7,328	8,376
岩江中学校	1,059	826	2,252	1,998	718	1,922	2,043
計	14,048	12,965	33,249	32,005	11,931	28,297	31,843

施設名	11月	12月	1月	2月	3月	合計
三春小学校	5,837	5,369	4,758	5,685	5,062	60,918
三春中学校	6,360	6,131	5,088	6,075	4,315	63,866
さくら共同調理場	3,310	3,399	2,737	3,272	2,652	34,768
沢石共同調理場	3,655	3,627	2,802	3,519	2,945	38,003
岩江幼稚園 岩江小学校	7,554	7,202	5,884	7,341	6,096	76,640
岩江中学校	2,173	2,163	1,799	2,158	1,298	20,409
計	28,889	27,891	23,068	28,050	22,368	294,604

### (3) 修繕

施設名	修繕内容	金額(円)
三春小学校	食器洗浄機修理	23,100円
岩江小学校	調理室照明設備修繕 外	318,450円
三春中学校	炊飯器修繕 外	266,431円
岩江中学校	冷凍冷蔵庫修理	38,500円
さくら共同調理場	給食室床及び壁修繕 外	261,800円
沢石共同調理場	回転釜バーナー交換修理 外	309,180円
計		1,217,461円

#### (4) 工事

施設名	工事内容	金額 (円)
三春小学校	小荷物専用昇降機リニューアル工事	2,059,200 円
岩江中学校	給食室搬入口扉修繕 外	556,380 円
計		2,615,580 円

#### (5) 備品購入

施設名	備品名	金額 (円)
岩江小学校	ガス回転釜 外	615,890 円
岩江中学校	消毒保管機	957,000 円
さくら共同調理場	フードプロセッサ 外	93,500 円
沢石共同調理場	スチームコンベクションオープン 外	2,756,380 円
計		4,422,770 円

#### (6) さくら・沢石共同調理場運営委員会の開催

さくら・沢石共同調理場業務の適正・円滑な運営のため、関係学校の校長、教頭、栄養職員、保護者代表、教育委員会職員等で組織した運営委員会をさくら・沢石の両共同調理場で年2回開催し、共同調理場の問題点等について協議した。

また、さくら共同調理場においては、受配校給食事務担当者会を年2回開催し、調理場、受配校、教育委員会間で事務内容等の打合せを行った。

### 3 給食における放射性物質対策について

給食における検査は、前日の食材検査と事後検査の給食まるごと検査（給食完成品検査）を三春の里ベクレルセンターにおいて実施した。食材検査の検出下限値は20ベクレル/kg、まるごと検査は10ベクレル/kgであるが、いずれの結果も検出下限値を下回っており、安全な給食を提供することができた。主食の米は三春町産を継続して使用したが、安全性を再確認するため、三春の里ベクレルセンターにおいても検査を実施し、検出下限値を下回っていることを確認したうえで使用した。

なお、これらの結果は、町ホームページや学校だより等で保護者に情報提供を行った。

### 4 つながる食育推進事業の実施について

今年度は三春中学校及び中郷小学校が文部科学省委託「つながる食育推進事業」のモデル校に指定され、～生徒の「過去」、「今」、「未来」が「つながる食育」の展開～を取り組みテーマとし食育を実践した。

望ましい食生活の実践や自己管理能力の育成に繋げるためには早い段階から食育を実践していくことが重要であることから、今年度より小中連携のもと取り組んだ。

具体的には、小学校で食に関する授業や栽培体験、親子で関わる「お弁当の日」などを通して食への関心を高め、中学校で体組成測定や自分自身の取扱説明書「トリセツ」、保健体育科を中心とした身体活動プログラム等により生徒一人一人の生活習慣と運動量・体格等の実態の把握・分析により個々の課題を生徒自らに把握させ、課題に応じて主体的に実践できる力を身につける取り組みを行った。

これらの取り組みにより、小学校における食育の基礎づくりや食に関する知識の習得、中学校における体力の向上などに繋げることができた。

・総事業費 1,024,000円（国：10/10委託事業）

# 教育委員会 生涯学習課

## 生涯学習グループ

### 令和2年度重点施策の進捗状況

目標3 豊かな心と文化を育むまちづくり（生涯学習・文化環境の充実、スポーツの振興）

目標5 産業が育ち魅力と活力にあふれるまちづくり（地域間交流及び国際交流の推進）

目標6 協働と町民参画による自立したまちづくり（公共施設等の維持管理）

#### 1 学びへの参加のきっかけづくりの推進

##### (1) 新型コロナウイルス感染症の影響

- ・国、県及び町の緊急事態措置により社会教育施設を4月24日～5月18日まで臨時休館とし、それ以後は、人数制限、検温、消毒の徹底など感染症対策を講じる使用方針を作成し、施設の提供を行った。
- ・団体の責に帰さない施設利用キャンセルが多く発生したため、キャンセル料免除の措置を一定期間行った。
- ・新型コロナウイルスワクチン接種会場検討のため、3月の利用団体に対し日程変更等を依頼し協力を得た。
- ・利用状況を把握し分散化を促す等の三密対策として、三春交流館のアナログ監視カメラをデジタル対応監視カメラに変更し、同時に通信環境整備のためWi-Fiを設置した。

##### (2) 町民の生涯学習活動の推進

- ・地域のボランティア活動を発展させることを目的に、体験活動ボランティアコーディネーター養成研修会を開催した。
- ・明徳大学の令和元年度卒業式は6月に開催し、令和2年度は7月に開講、次年度6月に修了式・卒業式を行うことで、学級生の学習の機会を提供した。
- ・地区の高齢者学級は、7月から事業計画に基づき開講し学習支援を行った。
- ・生涯学習活動団体の登録を行い、施設使用の支援や文化祭の実施により生涯学習機会の場や発表の場の提供を行った。
- ・令和3年1月10日に成人式を開催した。感染症対策のため来賓者数等の規模を縮小した。

#### 2 多様な主体との連携・協働の推進

##### (1) 三春町国際交流協会との連携による国際交流事業の充実

- ・ライスレイク高校へ留学生派遣  
令和元年度に派遣した留学生が令和2年6月に帰国し、田村高校2年に復学した。現在は田村高校とライスレイク高校の交流のコーディネーターとして活動している。
- ・令和3年度のライスレイク高校留学生募集は中止。アメリカ短期留学は1年延期とした。
- ・指定管理者特定非営利活動法人三春町国際交流協会による「三春町国際交流館ライスレイクの家」の維持管理と運営を行った。指定管理契約満了となることから今後の運営について検討を行い、三春町教育委員会が直接管理運営を行うこととした。

##### (2) 三春ダムやまちづくり公社等と連携した自然環境に関する学習・研修の場の提供

- ・指定管理者株式会社三春まちづくり公社による「さくら湖自然観察ステーション」の維持管理を行うとともに、さくら湖自然観察ステーション企画運営委員会による自然に親しむ学習会を、規模を縮小しながら実施した。
- ・さくら湖自然環境フォーラム等の開催については、集合せずにチラシの配布や今までの活動をWEB上で閲覧できるようにすることで代替の事業を行った。

##### (3) 三春交流館運営協会と連携した芸術事業の推進

地域振興や町民の生活文化の向上を図ることを目的に3公演を計画していたが、初笑い1公演のみ感染症対策を講じて実施した。

### 3 多様な人材の幅広い活動の推進

町民の生涯学習活動を促進するため、講師となり得る生涯学習人材の募集を行い次年度に向けて募集活動を行った。

### 4 生涯学習施設（所管分）の適正な維持管理と運営

建物の劣化状況に応じた適切な維持保全をすべく、長寿命化計画に基づき、工事の実施及び保守点検において指摘のあった事項について速やかに修繕対応した。

## 1 委員会等に関する事業

○社会教育委員…青少年及び成人に対して行われる教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、その他関係者に対し、助言と指導を行う。

委員長 遠藤弘子 副委員長 宗像幸子 委員 市川潤一 高野信広 佐久間伊一

任期 令和2年4月1日～令和4年3月31日

※令和元・2年度田村地区社会教育委員連絡協議会会長・事務局

事業名	構成人数	時期	内容	場所
社会教育委員 (田村地区社会教育委員連絡協議会事務局)	5	6月17日	第1回社会教育委員の会議 委嘱状交付 令和2年度事業計画審議 新型コロナウイルス感染症対応について	三春交流館「まほら」
		6月26日	田村地区社会教育委員連絡協議会役員会・総会（委員長・副委員長・事務局）	三春交流館「まほら」
		7月	県社会教育委員連絡協議会第1回理事会・総会	紙面開催
		9月24日	県社会教育委員連絡協議会第2回理事会（地公連会長）※中止	
		9月24日～25日	県社会教育研究集会 1年延期	南会津大会
		11月25日	第2回社会教育委員の会議 令和2年度事業の中間報告 令和3年度事業の取組について	三春交流館「まほら」
		2月12日	第3回社会教育委員の会議 令和2年度事業報告 三春町第1期教育大綱について	三春交流館「まほら」
		3月18日	県社会教育委員連絡協議会第3回理事会（地公連会長）	ふくしま中町会館

○生涯学習を進める町民会議…町民の意見を行政に反映させ、町民の生涯学習の普及・推進を図る。

委員長 柳沼孝則 副委員長 佐久間眞

委員 栗山トミ子 佐久間亨 市川幸正 伊藤徳男 影山光雄 宗形一夫 橋本知典 新田信二  
佐久間幸吉 大槻とし

任期 平成31年4月1日～令和3年3月31日

事業名	構成人数	時期	内容	場所
生涯学習を進める町民会議	12	6月（紙面）	第1回生涯学習を進める町民会議 事業計画審議 意見徴収等	三春交流館「まほら」
		2月18日	第2回生涯学習を進める町民会議 生涯学習課等の事業について 各地区・団体の活動について 三春町第1期教育大綱について	

○青少年問題協議会…青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策の事項について、調査審議する。

会長 坂本浩之 副会長 千葉富子  
 委員 添田直彦 佐久間誠治 相川義則 根本雅彦 市川潤一 遠藤均 伊藤久雄 大内昌子  
 梶原和則 橋本和子 橋本厚枝  
 幹事 教育次長兼教育課長 保健福祉課長 子育て支援課長 生涯学習課長  
 任期 平成31年4月1日～令和3年3月31日

事業名	構成人数	時期	内容	場所
青少年問題協議会	17	12月25日	各団体の活動状況について 青少年健全育成標語コンクール審査会	三春交流館「まほら」

○さくら湖自然観察ステーション企画運営委員会…さくら湖自然観察ステーションで行う事業について、企画・運営する。

委員長 堀越正文 副委員長 佐々木浩一  
 委員 吉川久三 沖津二郎 武地優子 野中敏光 影山博 小林潤一郎 鈴木武 山口登美男  
 任期 平成31年4月1日～令和3年3月31日

事業名	構成人数	時期	内容	場所
さくら湖自然観察ステーション企画運営委員会	10	3月(紙面)	令和2年度実績報告 令和3年度事業計画案について	さくら湖自然観察ステーション

## 2 学びへの参加のきっかけづくりの推進

### (1) 町民のニーズを生かした講座の開催

#### ①パソコン町民講座

三春町パソコン講座連絡協議会主催。新型コロナウイルス感染症予防のため事業中止。

#### ②ボランティアコーディネーター養成研修会

- ・三春町教育委員会主催、生涯学習支援ボランティアの会共催
- ・社会教育実践研究センター講師派遣事業を活用した研修会
- ・講師：全国体験活動ボランティア活動総合推進センター コーディネーター 橋本 洋光 氏
- ・題目：「ボランティア活動の意義とコーディネーターの役割について」

人数	時期	内容	場所
50	11月21日	ボランティア活動の意義と役割を学び、参加者自身の資質向上を図るとともに、地域のボランティア活動を発展させることを目的とした研修会。	三春交流館「まほら」

#### ③ヨガ教室

- ・生涯学習支援ボランティアの会主催、三春町教育委員会共催によるヨガ体験教室
- ・講師：KUU (吉村 久美子) 氏

回数	人数	時期	内容	場所
第1回	20	9月5日	ヨガ体験教室(約90分)	三春交流館「まほら」
第2回	21	10月3日		



第3回	12	2月6日		
合計	53			

(2) 高齢者学級事業

高齢化社会が進む中で、高齢者に対する期待は大きく、集団学習を通して地域のネットワークを創り、生き方を学び合い、健康で明るく生活できる教養を身につけ、自立した地域社会づくりを推進する。

明德大学は、教育委員会が開設運営し、町全体から学生を募集し2学年制で行っている。地区高齢者学級は地区の方が自主的運営を行い、教育委員会が運営の支援を行っている。

令和3年度より中妻地区での学級開催に向けて準備を行った。

①中央高齢者学級

事業名	人数	時期	内容	場所	
明德大学 1・2年生	1年 31名 2年 29名  (※令和3年 3月現在)	月1回	4月	新型コロナウイルス蔓延防止対策として、事業を見合わせた。	三春交流館 「まほら」他
			5月		
			6月		
			7月	1年 入学式・学級会 (午前) 2年 始業式・学級会 (午後)	
			8月	1年 町定例議会一般質問傍聴	
			9月	2年 歴民講座「種痘と三春町衛生組合」	
			10月	1年 歴民講座「昭和の三春」 2年 移動学習「安積歴史博物館」等視察	
			11月	1年 移動学習 三春町南部方面史跡視察 2年 移動学習 東日本大震災・原子力災害伝承館等視察	
			12月	1年 教養学習 高齢者の交通安全と防犯 2年 町定例議会一般質問傍聴	
			1月	1・2年合同 町長講話 三春町の現状と課題	
			2月	1年 教養学習 成年後見制度について 2年 健康教室 「おなか元気教室」	
			3月	1・2年 教養学習 小学校国際理解教育	

②地区高齢者学級

事業名	人数	時期	内容	場所
三春・沢石・要田・御木沢・岩江・中郷地区高齢者学級	舞鶴 50 名 沢石 44 名 要田 30 名 御木沢 29 名 岩江 41 名 中郷 33 名  (※令和3年3月現在)	月1回	4月～6月は新型コロナウイルス蔓延防止対策として、事業を見合わせた。  開講式・閉講式(各地区計画により実施) 教養学習：町長講話・教育長講話・交通安全防犯教室・議会傍聴・歴史講座・国際理解講座・障がい者支援活動について 健康学習：フレイル予防・スクエアステップ教室・健康長寿と食事・健康寿命をのばすために・冬季の健康管理 移動学習：Jビレッジ・東日本大震災・原子力災害伝承館等視察	各地区交流館 他

(3) 生涯学習団体の活動支援

①各種活動支援

事業名	団体数	時期	団体の支援
各種団体支援	3	随時	①三春町婦人会 補助金 10万円 ②生涯学習支援ボランティアの会 交付金 20万円 ③三春町国際交流協会 交付金 33万5千円

②生涯学習活動団体登録及び学習支援

生涯学習活動団体の学習の場の支援として使用料減免や文化祭等での発表の場の支援を実施した。  
生涯学習活動団体登録 52 団体

③文化祭の実施

期 間 令和2年10月16日(金)から11月14日(日)まで

開 幕 式 令和2年10月16日(金) 三春交流館「まほら」ホワイエ

参加団体 22 団体(ホール発表1、合同展示6、個別発表・展示等15※重複1)

来場者数 延べ2,249人(前年延べ3,840人)

※新型コロナウイルス感染症の影響等で参加団体が辞退したことにより来場者41.4%減少。

【合同展示】10月16日(金)から10月18日(日)

場 所	行 事 名
ホワイエ	三春遊墨会
	NPO 法人かたつむり でんでんむし・いちご作品展
	歴史民俗資料館友の会 活動の発表
	人権擁護委員
	行政相談委員
	三春町民図書館

【個別展示・発表の部】10月17日（土）から11月14日（日）

日程	場所	行事名
10月16日(金)	ホワイエ	歴史民俗資料館 まが玉作り体験
10月17日(土) ～18日(日)	小ホール	白清会（池坊、小原、龍生）合同で催す花展
10月20日(火) ～22日(木)	ホワイエ 小ホール	第50回三春町高齢者作品展示会
10月24日(土) ～25日(日)	まほらホール	生涯学習課生涯学習グループ スタインウェイピアノを弾いてみよう！
10月30日(金)	和室	三春町民図書館 図書館活用講座&ブックコート体験会
10月30日(金) ～11月1日(日)	小ホール	第32回フォトクラブ舞鶴写真展
	ホワイエ	第42回三春美術展
	学習室C・D	かえるさんの家
11月3日(火) ～8日(日)	ホワイエ	三春町児童クラブ
		さくら湖自然観察ステーション
		生涯学習グループ
		社会体育グループ
11月8日(日)	まほらホール	福島県立田村高等学校合唱部 第45回定期演奏会
	文化伝承館	町民囲碁大会
11月14日(日)	まほらホール ホワイエ	三春おやこ劇場 まほらバックヤードツアー

(4) 青少年健全育成事業…21世紀の社会を形成する青少年に対し、家庭・学校・地域がそれぞれの役割と責任を果たしつつ、相互に協力しながら社会全体で青少年の健全育成を図る。

①成人式

事業	人数	時期	内容	場所
成人式典	対象者 181名 出席者 138名 出席率 76.2%	令和3年1月10日	新成人を祝う式典開催 成人証書・祝辞集作成配付 ※時間短縮・来賓縮小など感 染症対策を講じ実施。	三春交流館「まほら」
動画配信		令和3年2月11日 ～3月10日	成人式の様子を動画にて配 信	YouTube 三春町公式 チャンネル

②三春小学校音楽鑑賞教室

人数	時期	内容	場所
三春小学校 4・5・6年 約170名(教員含む)	令和3年2月25日	カルテット ドンカ 「Quartet DONKA」による弦楽四重奏 コンサートによる音楽鑑賞教室	三春交流館「まほら」

(5) 生涯学習情報提供…IT・広報等を有効に活用し、学習情報の効果的な提供を行う。

事業名	時期
町広報・交流館機関紙「交流館ニュース」	発行、毎月1日
町ホームページ 交流館ホームページ	随時更新
さくら湖自然観察ステーション 観察会の周知	三春まちづくり公社ホームページで広報 広報みはるで毎月の観察会を周知

### 3 多様な主体との連携・協働の推進

(1) 三春町国際交流協会との連携による国際交流事業の充実

姉妹都市交流…姉妹都市アメリカ合衆国ウィスコンシン州ライスレイク市との交流を通じ、町民の国際理解向上と町の国際化を推進し、「草の根」交流を深める。

①青少年派遣事業

事業名	時期	内容
ライスレイク高校 留学生派遣事業	4月～5月	田村高校2年生 山代琴葉 (令和元年8月から派遣) 新型コロナウイルス感染症拡大のためオンライン授業 帰国に関する情報収集及び支援
	6月26日	日本へ帰国、PCR検査のため空港滞在
	6月27日 ～7月10日	14日間の待機要請期間中三春の里コテージを借り上げ滞在
	8月	田村高校2年に復学
	新型コロナウイルス感染症の影響で次年度の留学生募集中止	
アメリカサマーキャンプ派遣事業	4月	令和2年度アメリカ短期留学(第13回アメリカサマーキャンプ)を1年延期に決定
田村高校とライスレイク高校のオンライン交流	12月10日 1月14日 2月18日	田村高校で朝7時30分より50分程度Zoomによるオンライン交流を行った。(参加者 7～9名)

②ライスレイクの家施設運営管理

○指定管理者「特定非営利活動法人三春町国際交流協会」による施設運営管理

指定管理料 3,460,000円

事業名	時期	内容
国際交流館管理	4月1日 ～3月31日	宿泊・喫茶業務 施設の管理運営・保全

○宿泊、喫茶利用状況

	平成30年度	平成31年度 令和元年度	令和2年度	比較(2年度/元年度)
宿 泊	42名	38名	10名	26.3%
喫茶(会議)	2,418名	2,338名	1,271名	54.4%

○学習会、イベント開催状況

開催日	イベント等名称・内容	参加者
4月～3月	外国語スキルアップ活動(一般対象英会話講座)(13回開催)	延べ36名
10月～12月	数楽カフェ(5回開催)	延べ38名
11月23日	三春町中学生英語弁論大会	発表者28名
11月23日	ライスレイク高校留学生帰国報告会(弁論大会の時に同時開催)	

③令和3年度以降のライスレイクの家施設管理

国際交流館「ライスレイクの家」の今後の運営方法について検討し、令和3年3月31日で指定管理契約が満了となることから、指定管理を継続せず町直営の管理運営とすることとした。

「三春町国際交流館条例」を議会定例会3月会議に上程、「三春町国際交流館条例施行規則」を3月教育委員会に上程し令和3年4月1日より施行となった。

(2) 三春ダムや三春まちづくり公社等と連携した自然環境に関する学習・研修の場の提供

①三春ダムや三春まちづくり公社等と連携

各種観察会…町内での観察会のほか各種教室等を行い、自然に親しむ機会や環境問題などを考える場を提供する。

○森と湖に親しむ「さくら湖自然教室2020」は新型コロナウイルス感染拡大のため中止とし、対象の小学校には、夏休みの自由研究に使ってもらうように、さくら湖動植物写真などを配布した。

○さくら湖自然環境フォーラム2020

テーマ：さくら湖周辺における環境保全等の取り組みの歩みを振り返る

さくら湖自然環境フォーラムのこれまでの取り組みや三春ダムの歩みなど、三春ダム管理所ホームページからWEB配信での開催とした。

②さくら湖自然観察ステーション施設運営管理

○指定管理者「株式会社 三春まちづくり公社」による施設運営管理

指定管理料 7,400,000円

事業名	時期	内容
さくら湖自然観察ステーション管理	4月1日 ～3月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の保全</li> <li>自然観察ステーション企画運営委員により、自然・生物・星の観察等の学習会・イベントを開催</li> <li>展示室・会議室・天体ドームの利用</li> </ul>

○学習会、イベント開催状況

開催日	イベント等名称・内容	参加者
4月19日	野鳥の巣箱作り	5名

5月23日	カブトムシの幼虫採取教室	24名
9月26日	粘土で遊ぼう（子供向け）	14名
11月21日	つるクラフト教室	25名
2月27日	水鳥観察会	24名
4～11月 月2回	星を見る会 (16回予定し、新型コロナウイルス感染症の影響により14回中止。 天文台の調整の後、1回開催。)	

※新型コロナウイルス感染症の影響により事業数が減少した。

○展示室入場者数（人） ※見学等の申込書の集計人数による数。（フリー見学は除く）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 合計	前年比
R2 人数	175	86	168	331	332	229	370	339	33	45	174	227	2,509	86.2%
H31/R元 人数	371	447	203	210	393	306	144	226	42	140	150	277	2,909	

※新型コロナウイルス感染予防のため、4月24日(金)から5月22日(金)まで休館。

○会議室利用者数（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 合計	前年比
R2 人数	18	31	80	199	198	56	391	93	145	97	179	227	1,714	57.1%
H31/R元 人数	64	210	251	622	543	233	128	356	147	205	164	79	3,002	

○天体ドーム利用者数（人） ※冬期間（12月～3月）は臨時観察会以外の実施はない。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 合計	前年比
R2 人数	中止			新型コロナウイルス 感染予防により自粛				14					14	32.6%
H31/R元 人数	19	0	0	0	8	0	0	16					43	

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止や自粛が相次いだ。

③施設修繕（指定管理外）

事業名	時期	内容
さくら湖自然観察 ステーション管理	4月1日 ～3月31日	指定管理者の契約業務外の緊急または規模の大きい修繕等 5月：屋根雨漏り修繕 7月：事務室照明器具修繕

④令和3年度以降のさくら湖自然観察ステーション施設管理

令和3年3月31日で指定管理契約が満了となることから、三春町公の施設に係る指定管理者選定検討会を経て、株式会社三春まちづくり公社を指定管理者として議会定例会3月会議に上程し、継続

して指定管理者として指定した。

(3) 三春交流館運営協会と連携した芸術事業の推進

- ・補助金等の交付 三春交流館運営協会 4,500,000 円
- ・交付目的 三春交流館の有効活用を図り、芸術文化の創造と発信並びに交流事業に関する活動を通して、地域振興及び町民の生活文化の向上に寄与する。

月/日	公演名	出演者名	内容	料金	入場者数 (販売数)
6/6 (土)	有馬靖彦とデキシ ージャイブ (※4月中止決定)	有馬靖彦 デキシージャ イブ	クラリネット奏者 有馬靖彦を中 心に結成した日本有数のデキシ ーランド・ジャズ・バンドによる コンサート。	1,500 円 ※当日 500 円増	— (45 枚) ※全て返金
1/23 (土)	初笑い「まほら」 寄席 林家三平・春風亭 一之輔二人会	林家三平 春風亭一之輔 春風亭いっ休 ばいそん	笑点でお馴染みの林家三平と雑 誌連載やラジオなど様々なジャ ンルで活躍中の春風亭一之輔に よる二人会。※福島県内在住者限 定	3,500 円 ※当日 500 円増	111 名 (123 枚)

4 多様な人材の幅広い活動の推進

三春町生涯学習人材ガイドの登録推進

- ・生涯学習に関わる豊かな知識や経験をもつ人材に対し「三春町生涯学習人材ガイド」に登録してもらい、学習活動や地域活動を希望する町民に情報提供し生涯学習の促進を図ることを目的とした制度。
- ・令和3年3月末現在登録者14名、利用実績0件。

5 生涯学習施設(所管分)の適正な維持管理と運営

(1) 地区交流館 6分館

沢石会館、要田交流館大平荘、御木沢地区公民館、岩江センター、中妻地区公民館、中郷地区交流館

(2) 三春交流館「まほら」維持管理

①施設設備等保守業務

7,628,729 円

空調設備保守点検業務委託	5,153,500 円
昇降機保守点検業務委託	528,000 円
消防設備保守点検業務委託	445,500 円
建築物環境衛生管理技術者業務委託	413,600 円
自家用電気工作物保守管理業務委託	347,609 円
建築物・建築設備・防火設備定期報告業務委託	483,120 円
その他業務委託	257,400 円

②施設管理及び清掃業務

4,485,599 円

施設管理(夜間・休日)業務委託	2,006,881 円
清掃及び管理業務委託	1,992,518 円
臨時清掃業務委託	486,200 円

③舞台設備等保守管理業務 11,662,684 円

舞台技術者業務委託	8,471,276 円
舞台吊物等装置保守点検業務委託	1,140,700 円
舞台音響設備保守点検業務委託	770,000 円
舞台照明設備保守点検業務委託	698,500 円
ピアノ保守点検業務委託	333,300 円
ホール椅子点検増し締め業務委託	248,908 円

④施設・舞台修繕 2,022,570 円

自動制御機器ダンパーモーター修繕	401,500 円
排煙窓修繕	312,400 円
備品等修繕	215,270 円
その他	1,093,400 円

⑤工事 19,123,500 円

空調設備改修工事	12,650,000 円
高圧気中開閉器更新工事	1,056,000 円
屋上防水修繕工事	4,345,000 円
非常照明バッテリー修繕工事	1,072,500 円

⑥備品購入 854,106 円

折りたたみテーブル	739,200 円
その他	114,906 円

(3) 地区交流館維持管理

①施設設備等保守業務 1,226,720 円

空調設備保守管理業務委託	262,900 円
その他業務委託	963,820 円

②清掃業務 673,420 円

清掃業務委託	629,420 円
その他	44,000 円

③施設修繕 245,330 円

御木沢地区公民館換気扇交換	83,600 円
その他	161,730 円

④備品購入 273,590 円

折りたたみテーブル	161,040 円
-----------	-----------



その他	112,550 円
-----	-----------

(4) 新型コロナウイルス感染症対応中央交流館事業費

①工事 15,895,000 円

デジタル監視カメラ設置工事	15,895,000 円
---------------	--------------

②備品購入 302,500 円

インクジェットプリンター	49,500 円
--------------	----------

パーソナルコンピューター購入	137,500 円
----------------	-----------

デジタルビデオカメラ等購入	115,500 円
---------------	-----------

③委託料 3,200,000 円

公共施設公衆無線 LAN 整備業務委託	3,200,000 円
---------------------	-------------

## 6 三春交流館「まほら」、地区交流館利用状況

### (1) 三春交流館「まほら」利用状況

施設区分	利用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
まほらホール	回数(回)			5	7	5	10	10
	人数(人)			52	321	952	640	1,424
舞台のみ	回数(回)					3	1	4
	人数(人)					90	60	55
客席のみ	回数(回)					3	1	4
	人数(人)							
ホワイエのみ	回数(回)		5	8	13	9	11	21
	人数(人)		110	188	1,630	221	435	1,274
交流広場	回数(回)				4	2	1	1
	人数(人)				310	290	300	220
小ホール	回数(回)	14	1	27	38	35	40	39
	人数(人)	250		280	347	351	464	724
楽屋A	回数(回)	9	2	16	22	17	20	25
	人数(人)	51	17	66	173	88	76	84
楽屋B	回数(回)	12	1	14	18	11	12	18
	人数(人)	67	7	69	88	64	85	63
学習室C	回数(回)	7	1	14	12	18	13	25
	人数(人)	43	16	99	73	149	96	231
学習室D	回数(回)	8	1	15	13	16	12	20
	人数(人)	63		96	77	69	58	50
和室E(大)	回数(回)	9	2	16	32	27	38	32
	人数(人)	109	25	179	291	246	319	307
和室F(小)	回数(回)	7	2	17	20	16	24	24
	人数(人)			11				8
計	回数(回)	66	15	132	179	162	183	223
	人数(人)	583	175	1,040	3,310	2,520	2,533	4,440

### (2) 地区交流館利用状況

交流館名	利用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
沢石会館	回数(回)	15	2	11	10	13	11	7
	人数(人)	206	26	133	113	212	202	111
要田交流館 大平荘	回数(回)	2		11	8	10	13	13
	人数(人)	15		81	76	109	139	154
御木沢地区 公民館	回数(回)	4		5	10	6	8	15
	人数(人)	10		38	100	45	70	152
岩江セン ター	回数(回)	45	31	50	48	26	43	42
	人数(人)	1,044	817	1,398	1,300	967	1,231	1,352
中妻地区 公民館	回数(回)	19	19	28	30	22	30	27
	人数(人)	384	316	757	768	447	730	683
中郷地区 交流館	回数(回)	26	28	39	34	28	36	39
	人数(人)	308	360	680	734	515	765	720
計	回数(回)	111	80	144	140	105	141	143
	人数(人)	1,967	1,519	3,087	3,091	2,295	3,137	3,172

11月	12月	1月	2月	3月	R2年度 (4~3月) 計 a	H31/R元年度 (4~3月) 計 b	比較 c = a - b	
								%
12	5	10	8	4	76	88	△ 12	△ 13.6
698	785	1,071	431	240	6,614	25,041	△ 18,427	△ 73.6
3	5	3	2		21	47	△ 26	△ 55.3
71	110	2	56		444	2,351	△ 1,907	△ 81.1
7	5	2	2		24	31	△ 7	△ 22.6
259					259	15	244	1,626.7
21	2	5	10	11	116	91	25	27.5
631	33	919	200	360	6,001	6,752	△ 751	△ 11.1
1	1	3			13	13		
320	260	44			1,744	1,767	△ 23	△ 1.3
42	33	29	31	42	371	499	△ 128	△ 25.7
647	386	316	363	543	4,671	11,848	△ 7,177	△ 60.6
27	16	17	18	20	209	308	△ 99	△ 32.1
80	82	39	74	130	960	2,080	△ 1,120	△ 53.8
18	17	18	18	14	171	290	△ 119	△ 41.0
140	76	64	81	76	880	1,844	△ 964	△ 52.3
24	20	21	24	23	202	308	△ 106	△ 34.4
279	185	139	193	212	1,715	2,783	△ 1,068	△ 38.4
20	17	16	19	17	174	302	△ 128	△ 42.4
41	38	48	68	53	661	1,763	△ 1,102	△ 62.5
29	36	31	22	25	299	410	△ 111	△ 27.1
256	353	282	234	276	2,877	3,855	△ 978	△ 25.4
20	26	27	17	20	220	225	△ 5	△ 2.2
			4		23	695	△ 672	△ 96.7
224	183	182	171	176	1,896	2,612	△ 716	△ 27.4
3,422	2,308	2,924	1,704	1,890	26,849	60,794	△ 33,945	△ 55.8

11月	12月	1月	2月	3月	R2年度 (4~3月) 計 a	H31/R元年度 (4~1月)	比較 c = a - b	
								%
12	9	10	18	24	142	298	△ 156	△ 52.3
149	152	126	134	412	1,976	8,358	△ 6,382	△ 76.4
10	6	7	10	17	107	127	△ 20	△ 15.7
101	77	85	131	154	1,122	2,296	△ 1,174	△ 51.1
12	12	8	9	15	104	107	△ 3	△ 2.8
106	93	114	140	233	1,101	2,086	△ 985	△ 47.2
42	29	51	47	63	517	253	264	104.3
1,140	1,361	1,031	1,236	1,572	14,449	17,725	△ 3,276	△ 18.5
27	29	24	27	31	313	330	△ 17	△ 5.2
679	752	567	628	674	7,385	8,514	△ 1,129	△ 13.3
33	37	30	26	39	395	327	68	20.8
774	823	598	640	854	7,771	7,799	△ 28	△ 0.4
136	122	130	137	189	1,578	1,442	136	9.4
2,949	3,258	2,521	2,909	3,899	33,804	46,778	△ 12,974	△ 27.7

7 令和2年度三春交流館「まほら」利用日稼働状況

会場		4月から6月			7月から9月			10月から12月			1月から3月			年間		
		開館日	利用数	稼働率	開館日	利用数	稼働率	開館日	利用数	稼働率	開館日	利用数	稼働率	開館日	利用数	稼働率
まほらホール	全利用日	80	5	6.3%	82	22	26.8%	77	26	33.8%	65	22	33.8%	304	75	24.7%
	祝日	28	4	14.3%	31	18	58.1%	28	22	78.6%	29	16	55.2%	116	60	51.7%
ホワイエ	全利用日	80	12	15.0%	82	34	41.5%	77	37	48.1%	75	23	30.7%	314	106	33.8%
小ホール	全利用日	80	31	38.8%	82	68	82.9%	77	67	87.0%	75	57	76.0%	314	223	71.0%
1階会議室(2部屋)	全利用日	160	44	27.5%	164	91	55.5%	154	92	59.7%	150	89	59.3%	628	316	50.3%
2階会議室(4部屋)	全利用日	320	73	22.8%	328	159	48.5%	308	208	67.5%	300	196	65.3%	1256	636	50.6%

8 施設使用取止め状況

	申請 件数	取止 件数	差異	取りやめ内訳												計
				まほら ホール 一式	舞台 のみ	客席 のみ	ホワイ エのみ	交流 広場	小ホー ル	楽屋 A	楽屋 B	学習 室C	学習 室D	和室 E	和室 F	
4月	169	100	69	4	2	2	3	0	35	18	14	15	15	17	9	134
5月	139	110	29	3	0	0	3	1	42	11	17	8	15	24	13	137
6月	178	68	110	5	1	0	7	1	19	11	8	7	8	23	12	102
7月	173	24	149	2	2	2	0	0	13	5	2	2	4	1	1	34
8月	156	24	132	2	0	0	1	0	12	5	4	4	3	0	0	31
9月	187	30	157	7	2	0	2	0	16	8	6	5	4	1	1	52
10月	188	27	161	3	1	1	0	0	15	4	3	9	9	4	4	53
11月	194	20	174	4	2	2	0	0	12	2	1	4	4	3	3	37
12月	173	24	149	3	1	0	1	0	12	5	2	0	1	4	4	33
1月	146	31	115	2	0	0	1	0	8	7	2	5	4	8	6	43
2月	169	40	129	2	0	0	0	0	15	5	5	8	5	11	5	56
3月	172	30	142	3	1	1	0	0	13	3	5	6	6	9	3	50
合計	2044	528	1516	40	12	8	18	2	212	84	69	73	78	105	61	762

# 社会体育グループ

## 令和2年度重点施策の実施状況

### 目標3 豊かな心と文化を育むまちづくり（スポーツの振興）

#### 1 スポーツ活動の企画及び機会の確保に関する取組み

町の主要スポーツ大会等と位置付けていた、さくら湖マラソン大会、町民ソフトボール・家庭バレーボール大会とうつくしま・みずウオーク三春大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止とした。

感染症の収束が見通せない状況ではあったが、スポーツ活動再開を支援するため、感染症対策を講じて町営貝山プール開放、町民トレッキング教室と町民スキー教室を実施した。

さらに、町選手団を編成し、第14回市町村対抗軟式野球大会並びに第7回市町村対抗ソフトボール大会、第32回ふくしま駅伝に参加し、ソフトボールは準々決勝進出によりベスト8入り、ふくしま駅伝は町の部4位・総合13位の成績を収めた。

また、学校体育施設開放事業により地域のスポーツ活動・交流の場を確保するとともに、町体育協会・町スポーツ少年団活動への支援を行った。

#### 2 体育施設整備に関する取組み

体育施設を長寿命化させる取組みとして、町民体育館外壁改修工事を施工した。

#### 3 新型コロナウイルス感染症対応について

スポーツ活動時の感染症対策を関係団体に周知徹底し、また社会体育施設における感染症対策として体育館の収容人員設定と利用者の感染症対策を周知徹底した。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動自粛を要請された町内のスポーツ団体等が「新しい生活様式」の実践や各競技種目で定められたガイドラインに基づき、スポーツ活動を再開するための感染症対策経費に係る補助事業を実施した。

## 1 基本方針

- (1) スポーツを通して心身ともに健康な町民の育成を図る。
- (2) 町民のスポーツ振興・拡充の推進を図る。
- (3) 町民が広くスポーツに親しめる環境の充実に図る。

## 2 職員組織

主任主査1人、主事2人、会計年度任用職員1人

## 3 令和2年度事務事業

### (1) 新型コロナウイルス感染症対応経過

期 間	対策方針	町の対応
4月1日～ 5月18日	町対策本部方針 国緊急事態宣言発令	三春町体育協会加盟団体、三春町スポーツ少年団単位団、学校体育施設開放登録団体に活動自粛要請
4月22日～ 5月18日	国緊急事態宣言発令	町社会体育施設臨時休館
6月1日～ 6月18日	町対策本部方針	町民体育館及び町民第2体育館の収容人員を100人以下に設定
6月19日～ 現在	町対策本部方針	町民体育館及び町民第2体育館収容人員を半分に設定（町民体育館280人、町民第2体育館110人）

期 間	対策方針	町の対応
年間随時	生涯学習課方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ団体に感染症対策徹底通知</li> <li>・社会体育施設内消毒・清掃等徹底</li> <li>・社会体育施設来館者記録シート設置</li> </ul>

(2) 体育施設利用状況

施設名	2年度利用人数(人)	元年度利用人数(人)	備 考
① 三春町民体育館	11,071	23,648	
② 三春町民第2体育館	5,859	7,792	
③ 三春町営運動場	3,114	16,270	
④ 三春町営野球場	4,811	4,967	
⑤ 三春町営テニスコート	10,507	11,067	
⑥ 三春町営貝山プール	626	1,151	
⑦ 三春町運動公園談話室	518	1,186	
⑧ 三春町営ボート場	453	573	
合 計	36,959	66,654	
		令和2年度歳入 体育施設使用料 1,560,490 円	

(3) 町民のスポーツ振興のためのスポーツ推進委員活動

① スポーツ推進委員名簿 (任期:平成31年4月1日～令和3年3月31日)

三瓶 清友	橋本 由香里	柳沼 孝則	渡邊 清平
飛田 直	渡辺 昭好	佐藤 久	戸松 嘉明
佐久間 伊一	近内 正一	過足 奈美	遠藤 美由紀

② スポーツ推進委員活動

委員名	時 期	内 容
三春町 スポー ツ推進 委員	4月	第1回三春町スポーツ推進委員会議 (書面開催)
	5月	田村地方スポーツ推進委員連絡協議会監査会・役員会・総会 (書面開催)
	10月4日	町民トレッキング教室
	11月27日	第2回三春町スポーツ推進委員会議 (当年度事業報告、次年度事業計画)
	2月19日	第3回三春町スポーツ推進委員会議 (三春町第1期教育大綱 (案))
合計出席 (延べ) 人数	委員報酬 16人 92,800円 委員報償 5人 15,000円	

## (4) 社会体育団体の育成及び支援

団体名	団体数	加入者(人)	内 容
三春町体育協会	13	1,107	各協会単位で各種大会を開催し、事業を展開。 町実施事業への後援・参加協力。 町補助金 220,000 円 町交付金 640,000 円
三春町スポーツ少年団	16	指導者：130 団 員：289	国・県スポーツ少年団に登録し、各単位団で各種大会を開催し、団員の健全育成を図る。 町補助金 398,200 円 町交付金 1,600,000 円

## (5) 各種スポーツ大会等

事業名	人数等	時期	内 容	場所・主催者・決算額
第23回さくら湖マラソン大会	—	6月14日	開催中止	中郷学校及び三春ダム周辺 主催：さくら湖マラソン大会実行委員会 町補助金 2,618,000 円
第73回県総合体育大会田村地方予選大会 県中地域大会	—	7月12日 8月23日	開催中止	
町営貝山プール開放	626人	8月1日 ～ 8月19日	中学校臨時休校に伴う夏季休業期間短縮により、開放期間を短縮した。また、感染症対策として人数を制限して実施した。 夏季休業中開放 626人	監視業務 会計年度任用職員8人 報酬 448,872 円
第43回町民ソフトボール・家庭バレーボール大会	—	9月6日	開催中止	
第14回市町村対抗福島県軟式野球大会	30人	9月5日	1回戦：塙町 7-8 (敗退)	主催：福島民報社 県下59チーム参加 出場町報償 150,000 円
うつくしま・みずウオーク2020三春大会	—	9月12日	開催中止	さくら湖周辺 主催：みずウオーク実行委員会
三春町民トレーニング教室	18人	10月4日	感染症対策として人数を制限して実施した。 町スポーツ推進委員講師	一切経山(福島市)
第7回市町村対抗福島県ソフトボール大会	30人	10月18日 24日	2回戦：富岡町 13-3 (勝利) 3回戦：会津美里町 12-3 (勝利) 準々決勝：福島市 1-10 (敗退) ベスト8入り	主催：福島民報社 県下48チーム参加 出場町報償 150,000 円

事業名	人数等	時期	内 容	場所・主催者等・決算額
第32回ふくしま駅伝	28人	11月15日	感染症対策として区間を短縮して開催された。 町の部4位 総合13位	郡山～福島 (9区間、50.2km) 主催：福島民報社 町交付金 795,000円
三春町民スキー教室	18人	2月21日	感染症対策として人数を制限して実施した。 町内在住・在学者、スポーツ少年団団員	沼尻スキー場(猪苗代町) 講師報償 46,400円
第10回魁春旗争奪全国高等学校選抜柔道錬成三春大会(記念大会)	全国高校13校	3月28日～30日	感染症対策として参加校を減らして開催された。 高校柔道のレベルアップ	三春町民体育館 主催：全国高等学校選抜柔道錬成三春大会実行委員会 町交付金 1,000,000円

(6) 社会体育施設の補修・修繕整備

工事(業務)名	請負金額	工 期	内 容	請 負 者
三春町民体育館外壁改修工事	12,419,000円 (起債歳入充当： 11,100千円)	R2.6.27 ～ R2.9.30	外壁改修工事	(株)菊地住建
施設等応急修繕(11件)	817,080円	年間随時	各施設等修繕対応	(株)ワタナベ建装外

(7) 社会体育施設の管理運営

事業・業務委託等	時 期	内 容	場 所	委託等内容
町民体育館清掃及び管理業務委託	通年	体育館清掃、運動公園草刈及び夜間施設管理業務	町民体育館、町民第2体育館、運動公園内	(公社)三春町シルバー人材センター 4,060,027円
運動公園等草刈業務委託	7～9月	雑草刈払い	運動公園内、町営ボート場敷地内	(公社)三春町シルバー人材センター 469,480円
学校体育施設開放事業	通年	町内小中学校(8校)の体育館及びグラウンドを各登録団体(45団体)に開放	体育館及びグラウンド	管理員報償 7人 420,000円

(8) スポーツ活動再開支援事業(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業)

<p>①ニュースポーツ・レクリエーション備品購入</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、運動の機会が減少したことによる運動不足を解消するため、初心者でも気軽に取り組むことができるニュースポーツ・レクリエーション備品を町民体育館及び町民第2体育館に整備した。 グラウンド・ゴルフセット、ポッチャセット、卓球セット、バドミントンセット、フライングディスクセット、公式輪投げセット、ラダートレーニングロープ 決算額 452,650円</p>
<p>②スポーツ活動再開支援事業補助金交付</p> <p>町内のスポーツ団体がスポーツ活動を再開、継続するに当たっての感染症対策経費(消毒液、マスク、非接触式温度計等購入費)に対する補助事業を実施した。 交付決定団体：32団体 交付決定総額：640,678円</p>



## 令和2年度重点施策の実施状況

**目標3 豊かな心と文化を育むまちづくり（生涯学習・文化環境の充実、スポーツの振興）**

**目標5 産業が育ち魅力と活力にあふれるまちづくり（文化財・伝統芸能の保護及び活用）**

### 1 文化財保護の推進・支援

(1) 国指定天然記念物・三春滝ザクラを保護・保存する。

滝ザクラ周囲の草刈りや施肥等を地元の滝桜保存会に、病虫害の発生や雪害に対する巡視等を専門の造園業者に委託し、一年を通じて管理を実施した。

(2) 指定文化財等を保存・管理する。

① 町指定天然記念物「南成田の大桜」について、所有者から寄附を受け、樹勢回復工事に着手するとともに、新たに設立された地域の保存団体を支援した。

② 三春町文化伝承館が、旧吉田家住宅主屋・紫雲閣として、国登録有形文化財となった。

③ 開発に先立ち1遺跡で試掘調査を行い、縄文時代の遺物を確認、事業者へ工法等の指導を行った。

④ 民俗芸能等の継承を目的とする町内の15団体に、交付金による支援を行った。

### 2 文化財の保存・公開施設の管理運営

① 資料館屋上の防水工事を実施、特別収蔵庫等の消火設備、空調機器等の修繕を行い、施設の維持・管理に努めた。

② 文化伝承館の平日の管理を生涯学習支援ボランティアの会に委託した。

### 3 展示公開・各種講座・広報活動の充実

① 三春町市街地の昭和を振り返る企画展等を開催した。

② 新たな資料を収集するとともに、その整理を行い、貸出し・閲覧等に供した。

③ 展示解説や講座を開催するとともに、出前講座や講師の派遣等に対応した。

### 1 運営方針

地域の歴史・文化遺産を調査し、次の世代に伝えるため保存の措置を講じ、活用を推進するとともに、それらの情報を分りやすく発信して、町民の文化への関心や生涯学習の意欲を高める支援をする。

### 2 職員組織

主幹兼館長1人 主幹兼副館長1人、主査1人 会計年度任用職員3人（うち学芸員3名）

### 3 文化財保護事業

(1) 文化財保護審議会：教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関して調査・審議し

これらの事項について教育委員会に建議する。任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日

会長 田母野公彦 副会長 廣田吉三郎 委員 佐久間保一 石田智子 小松賢司

会議等名	時期	場所等	内容等
第1回 会議	5月20日	紙面開催	令和元年度文化財保護事業について（報告）、令和2年度文化財保護事業計画について
文化財 研修会	10月15日	福島県文化センター	県教委が主催する文化財保護指導者研修会に参加し、転換期を迎えつつある文化財保護行政の課題等を学んだ。（会長出席）
第2回 会議	11月27日	資料館研修室	令和2年度文化財保護事業について、令和3年度文化財保護事業計画について、文化財保護審議会による公開勉強会について（委員5名出席）
文化財 防火査察	1月24日	要田・沢石地区	南成田の大桜（南成田）、天日鷲神社（富沢）での防火査察に協力した。（出席：消防団関係者・総務課自治防災グループ及び文化財保護審議会会長・事務局）
第3回 会議	2月26日	資料館研修室	令和2年度文化財保護事業について、三春町第1次教育大綱について（委員5名出席）
文化財フ ォーラム	3月13日	三春交流館 ホワイエ	「三春城跡の保存と活用について」審議会の委員と町民との意見交換会（委員5名パネラー・一般参加者41名）

(2) 滝ザクラの保護保存事業

事業名	時期	内容
巡視	随時	経常的な巡視のほかに、特に大雨、強風、積雪時に巡視実施。
管理施肥業務委託	通年	地元の滝桜保存会に、年5回程度の草刈りと堆肥の作成・施肥(10月25日実施)、巡視・通報を委託(150,000円)。
雪害・病虫害予防巡視及び除雪作業委託	通年	専門業者に、月1回の病虫害発生状況の確認と積雪時の巡視、着雪時の雪下ろし作業を委託(巡視12回、92,400円)
中郷小学校「滝桜を守る会」	6月25日	中郷小学校全校生徒による滝ザクラの種子採取作業を指導・協力。
修学旅行の受入	11月13日	柏崎市立日吉小学校6年生23名に解説、現地案内。

(3) 指定文化財等の保存・管理事業

事業名	時期	内容等
指定文化財の管理	通年	主に屋外に所在する文化財を中心に随時巡視。
南成田の大桜管理施肥業務委託	通年	新たに地元地区で設立した「南成田の大桜を守る会」に、草刈りと施肥等管理業務を委託(80,000円)。
南成田の大桜保全対策工事	10月13日～1月29日	高所作業車と仮設足場を使用して、枯枝の切除と着生植物の駆除を実施(事業費1,233,664円、内411,000円県補助金)。
南成田の大桜標柱設置工事	11月18日～1月29日	大桜と周辺土地の寄附を受けたため、環境整備の一環として、天然記念物の標柱を設置した(91,080円)。
三春城跡案内パンフレットの増刷	5月	平成24年に作成したパンフレットの残部がほぼなくなったため、10,000部を増刷した(233,200円)。
国登録有形文化財の登録	8月17日	旧吉田家住宅主屋・紫雲閣(三春町文化伝承館)が、国の登録有形文化財に登録された。
堂平遺跡(実沢)の盛土工事	9月18日～10月31日	復元住居の撤去により土地借上げを終了したため、周囲と同じ高さに盛土して、遺構の保護を図った(319,000円)。
文化財案内板の修理	9月	田村大元神社の案内板1基を修理した(103,400円)。
文化財防火デー防火査察	1月24日	田村消防署、三春町消防団と、南成田の大桜(南成田)、天日鷲神社(富沢)で、各管理者の立会いのもとで防火査察を実施した。

(4) 埋蔵文化財保護事業

事業名	時期	内容等
埋蔵文化財包蔵地照会確認業務	通年	工事や土地取引に際して、77件88箇所の照会に回答した(このうち7箇所が遺跡に該当し、現況を確認し計画変更等を依頼)。
川平遺跡試掘調査	10月9日～13日	民間の太陽光発電計画。対象面積1,667㎡について、4条の試掘坑(182㎡)を発掘し、縄文土器片が出土(作業委託料286,000円)。遺跡への影響の少ない工法で、立会いのもと工事実施。

(5) 文化財保護保存団体育成事業(団体の育成、文化財の継承を目的に、各2万円を交付)

団体名	地区	対象文化財等
垢潜奉新会	富沢	町文化財・垢潜三匹獅子舞(火雷、天日鷲神社)
田村大元神社三匹獅子舞保存会	新町	町文化財・田村大元神社の三匹獅子舞
高木神社三匹獅子舞保存会	実沢	町文化財・高木神社の三匹獅子舞
樋渡三匹獅子舞保存会	樋渡	町文化財・樋渡の三匹獅子舞(樋渡神社)
荒獅子保存会	荒町	町文化財・八雲神社の長獅子舞
田村大元神社別火講中	新町	町文化財・田村大元神社の長獅子舞
八幡町若連	八幡町	町文化財・八幡神社の長獅子舞
斎藤太々神楽保存会	斎藤	町文化財・斎藤の太々神楽(見渡神社)
上舞木御神楽講保存会	上舞木	町文化財・直毘神社の太々神楽
巖島神社榊講社	御祭	巖島神社の太々神楽
三輪神社神楽保存会	庄司	三輪・笹山神社の太々神楽
大町太鼓保存会	大町	町文化財・伝統三春盆踊りや祭囃子
中町若連会	中町	町文化財・伝統三春盆踊りや祭囃子

団体名	地区	対象文化財等
西方若連会	西方	町文化財・西方の水かけ祭り（塩釜神社）
中妻文化財を守る会	中妻	地区内の文化財

#### 4 資料館等管理運営事業

(1) 歴史民俗資料館運営協議会：歴史民俗資料館の適正な運営を図るための協議会

任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日

会長 渡辺康人 副会長 渡辺安里

委員 日下部三枝 渡辺安博 五十嵐さおり 猪狩仁 長田城治

会議等名	時期	場所等	内容等
第1回 会議	5月20日	紙面開催	・令和元年度事業報告について ・令和2年度事業計画について
第2回 会議	11月17日	資料館研修室	・令和2年度の事業について ・令和3年度の事業計画について (委員5名出席)
第3回 会議	2月25日	資料館研修室	・令和2年度事業報告について ・三春町第1期教育大綱について (委員5名出席)

(2) 施設管理・運営（資料館、人形館、伝承館）

施設名	時期	内容等
歴史民俗資料館	通年	・周辺環境管理業務委託（草刈・館外清掃等）452,045円 ・自家用電気工作物保安管理業務委託 162,386円 ・浄化槽清掃保守点検管理業務委託 28,160円 ・空調機保守点検業務委託 203,500円 ・自動ドア保守点検業務委託 42,900円
	5月	浄化槽清掃 89,980円
	5月～8月	屋上防水修繕工事 13,255,000円
	7月	消防設備修繕（感知器交換） 24,750円
	7月～11月	特別収蔵庫ハロゲン化物消火設備修繕 924,000円
	7月～11月	特別収蔵庫電極式蒸気加湿器交換修繕 1,034,000円
	8月31日～9月5日	燻蒸等業務委託（ほかに6月22日に残留薬剤散布）1,760,000円
	9月	3階外壁タイル落下止め水切り取付 61,000円
	10月～12月	資料館竣工図面データ化業務委託 89,100円
	3月	水道メーター口径修繕（40mmから20mmに縮小） 126,500円
資料館・伝承館	6月	消火器具交換（資料館20本、伝承館4本を詰替え）176,000円
資料館・人形館	通年	・消防設備保守点検業務委託 122,100円 ・機械警備業務委託 224,400円
	3月	臨時清掃業務委託（ガラス、床面等の清掃） 108,900円
郷土人形館	通年	・管理業務委託（1月～2月は冬期休館） 1,287,440円 ・一般用電気工作物保安管理業務委託 35,200円
	7月～9月	目隠し塀修繕工事（北側民家との境） 280,000円
	9月	分電盤修繕（火災報知器誤作動のため）20,900円
	12月～2月	入口床修繕工事（白蟻被害の修繕と防除） 460,000円
文化伝承館	3月	男子トイレ修繕 33,000円
	通年	管理業務委託（12月～2月は平日休館） 504,000円 土日祝日の管理・清掃業務委託（冬季も同じ） 616,000円
	7月	消防設備修繕（誘導灯バッテリー交換） 25,300円
	10月	男子トイレ小便器配管修繕 14,300円

(3) 友の会活動支援 (会員数 120 名)

事業名	時期	内容等	参加者数
学習会	通年 12 回	展示解説 1 回、講座 5 回、懇談会 2 回、体験講座、旧吉田家住宅見学、茶話会、文化財フォーラム参加	延べ 129 人
グループ活動	通年	方言を学ぶ会 (計 4 回)	延べ 30 人
		縄文土器を作る会 (計 18 回)	延べ 100 人
		つるし飾りを作る会 (計 12 回)	延べ 64 人
		三春の歴史を知ろう 歴史紙芝居を作る会 (計 20 回)	延べ 93 人

5 展示・学芸事業

(1) 歴史民俗資料館・自由民権記念館常設展・企画展 (年間入館者 3,312 人、入館料 484580 円)

展示名	期間	内容等	入館者数
春季企画展「ハコ」	4 月 11 日～ 6 月 14 日	館蔵の様々な「ハコ」に着目した展示。河野広中が使用したトランクと帽子箱を初公開。ただし、4 月 20 日から約 1 ヶ月余りがコロナによる臨時休館となったため、入館者数はかなりの減少となった。	233 人
記念館ミニ展示「河野広中と普選運動」	7 月 23 日～ 12 月 20 日	河野広中が晩年まで取り組んだ普通選挙運動について、制限選挙に始まる選挙の歩みとともに展示。	
秋季企画展「昭和の三春」	9 月 19 日～ 11 月 29 日	昭和以降の市街地の町並みの変遷を伺うことができる写真を展示。戦争中の三春描いた絵画も紹介した。	1,215 人
常設展「きのうの三春・はるかな三春」	通年	縄文時代から明治維新までの歴史資料と城下町・周辺農村の民俗資料で三春の歴史・文化を紹介する。	※1,864 人
自由民権記念館 (常設展)	通年	明治時代の自由民権運動について、三春出身の自由民権運動家を顕彰する展示。	
福島県民の日	8 月 16 日	福島県民の日を記念した無料開放日	資料館 38 人 人形館 3 人
東北文化の日	10 月 31 日	東北文化の日を記念した無料開放日	資料館 41 人 人形館 18 人

※企画展等開催期間以外の入館者数

(2) 郷土人形館、文化伝承館展示

展示名	期間	内容等	入館者数
郷土人形館常設展	通年 (1～2 月冬期休館)	昭和初期に東北地方の郷土玩具を収集した「らっこコレクション」を 2 棟の土蔵で展示。入館料 49,550 円	512 人
文化伝承館常設展	通年 (12～2 月冬期休館)	明治時代の生糸商・吉田氏の住宅を公開 (離れの紫雲閣は壁面の崩落により平成 30 年より公開中止)。団体等での利用が 2 団体 4 回、写真撮影での利用 3 回。	527 人
つるし飾り作品展	3 月 2 日～5 月 5 日	生涯学習支援ボランティアの会の作品を広間等に展示した。	

(3) 資料の収集・管理・整理事業

事業名	内容等
資料の収集	新規寄贈 19 件、寄託 3 件
収蔵資料の管理	寄託更新事務 (27 件を更新、内 3 件を寄贈へ移行)
収蔵資料の貸出	・福島県立博物館 (人形館を紹介するコーナー) : 人形等 14 点 ・郡山市立美術館 : 雪村奔馬図、雪村庵扁額 2 点 ・福島市じょーもびあ宮畑 : 西方前遺跡出土土偶 2 点
写真の貸出・掲載	出版社・テレビ局・研究者等 11 件
資料の閲覧	研究者等 13 件
収蔵資料の修繕	御所人形 1 点 (令和元年度に委託) の修繕完了
収蔵資料の整理	福島大学による川又文書の整理を実施 (目録第 1 集が福島大学により刊行)

(4) 各種講座の開催

事業名	時期	内容
体験講座	夏季・町文化祭	・夏季まが玉作り（7月1日～8月30日、65人） ・三春町文化祭まが玉作り（10月16日～18日、13人）
依頼（出前）講座	随時（4件）	町内外の生涯学習等団体の依頼による歴史講話、史跡案内等
展示解説	随時（7件）	各種団体の依頼により常設展・企画展等を展示解説
町内学校学習支援	随時（10件）	町内小中学校、高校の教育課程による展示解説

6 新型コロナウイルス感染症対策

(1) 新型コロナウイルス感染症対策の経過

時期	内容
前年度3月～	各施設入口に来館者への感染症対策依頼文の掲示し、ホームページでも来館予定者へ周知。手指消毒用アルコールの配置、マスクを着用しての接客対応。
4月4日～	クラスター対策として、入館者に健康状態と連絡先等の記録票記入を依頼。
4月7日～	続100名城スタンプを入口外へ移動し、一般入館者への展示解説を中止。
4月13日～	資料館・人形館のカウンター及び事務室内に、飛沫防止用のスクリーンを設置。
4月16日～	県の緊急事態措置をうけ、アルコール消毒液による清掃を徹底。
4月20日～5月17日	県の緊急事態措置にかかる休業要請をうけ、臨時休館。
5月19日～	館内の椅子等の間隔を空け、休憩室は利用停止とする。チェックシートを作成し、施設管理を徹底した上で、通常通り開館する。

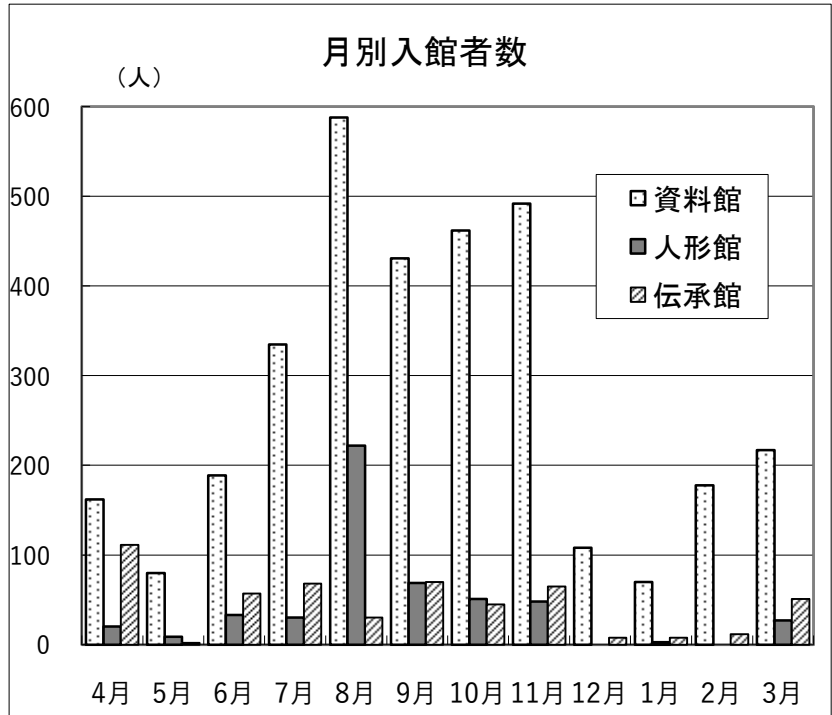
(2) 各施設での対策

施設名	対策内容
資料館・人形館・伝承館共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設管理チェックシートにより、感染症対策を実施</li> <li>・入口に来館者への感染症対策依頼文を掲示、ホームページにも掲載</li> <li>・手指消毒用アルコールを配置</li> <li>・手すり等を清掃用エタノールで随時ふき取り</li> <li>・適宜、換気を実施</li> <li>・入館者に、健康状態と連絡先を記録票に記載するよう依頼</li> </ul>
資料館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛沫対策のスクリーンを設置（カウンター及び事務室内）</li> <li>・トレイを介して入館料等の収受を実施</li> <li>・休憩室の利用停止</li> <li>・来館者用ソファの分散</li> <li>・一般入館者への展示解説を原則中止し、企画展等は事前予約により人数・時間を限定して実施</li> <li>・講座や友の会等で研修室を使用する場合、座席の間隔を空け、適宜パーティションを設置して実施</li> <li>・入館者用の自動検温器を設置</li> </ul>
人形館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飛沫対策のスクリーンをカウンターに設置</li> <li>・トレイを介して入館料等の収受を実施</li> <li>・休憩室の利用停止</li> <li>・換気機能付空調機を設置</li> </ul>

# 令和2年度 施設利用状況報告

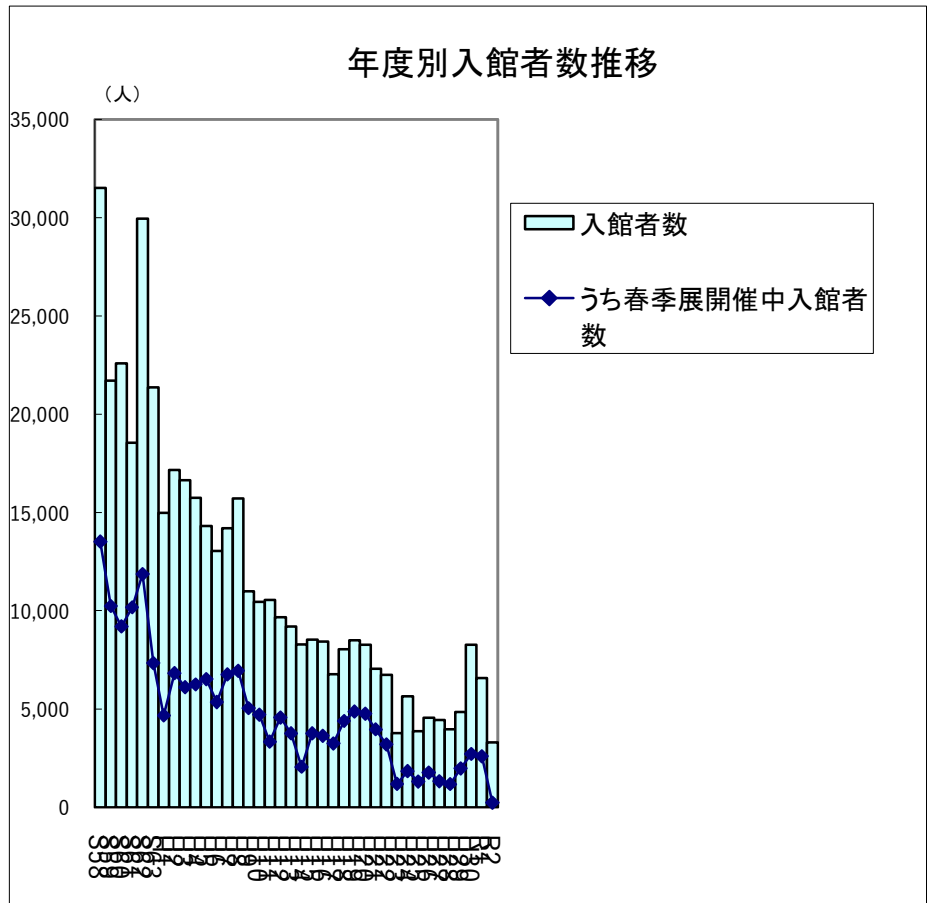
◎月別入館者数 (単位:人)

	資料館	人形館	伝承館	計
4月	162	20	111	293
5月	80	9	2	91
6月	189	33	57	279
7月	335	30	68	433
8月	588	222	30	840
9月	431	69	70	570
10月	462	51	45	558
11月	492	48	65	605
12月	108	0	8	116
1月	70	3	8	81
2月	178	0	12	190
3月	217	27	51	295
計	3,312	512	527	4,351



◎資料館年度別入館者数(単位:人)

	入館者数	うち春季展開催中入	春季展テーマ
S58	31,515	13,515	雪村
S59	21,696	10,241	みちのくの古人形
S60	22,596	9,202	安東・秋田氏展
S61	18,544	10,179	三春の自由民権運動
S62	29,947	11,868	三春田村氏と伊達政宗
S63	21,358	7,344	松下氏三春への道
H1	14,972	4,677	緋文の石と折り
H2	17,158	6,824	三春藩
H3	16,647	6,116	三春真照寺
H4	15,746	6,260	三春高乾院
H5	14,307	6,526	三春福聚寺
H6	13,051	5,361	三春法蔵寺
H7	14,195	6,760	女性の粧い
H8	15,709	6,949	三春の浄土宗
H9	10,996	5,047	大滝根川流域の遺跡
H10	10,462	4,718	三春城と城下町
H11	10,553	3,345	近代三春の夜明け
H12	9,680	4,568	文六焼
H13	9,207	3,771	三春人形と木型
H14	8,288	2,061	演劇で見る自由民権運動
H15	8,535	3,764	三春藩主秋田氏
H16	8,433	3,641	三春城と仙道の城
H17	6,787	3,250	春陽の士
H18	8,035	4,397	田村大元神社
H19	8,489	4,870	さくら咲く
H20	8,286	4,765	春が来た
H21	7,059	3,970	花咲く里
H22	6,736	3,210	三春人形が語る絆
H23	3,787	1,189	家を継ぐ
H24	5,644	1,846	愛姫と三春の姫君
H25	3,871	1,313	藩校から学校へ
H26	4,561	1,769	三春の春彩々
H27	4,445	1,326	手わざと三春
H28	3,975	1,183	鎌田悌次郎
H29	4,850	1,976	大高正人
H30	8,268	2,715	愛姫
R1	6,580	2,596	石塚省三
R2	3,312	233	ハコ一冊を入れたの
累計	438,280	183,345	



累計入館者数

10万人  
20万人  
30万人  
40万人

昭和62年度(1987) 開館5年目  
平成4年度(1992) 開館11年目  
平成12年度(2000) 開館18年目  
平成25年度(2013) 開館31年目

## 三春町民図書館

### 令和2年度重点事業施策の実施状況

#### 豊かな心と文化を育むまちづくりに関する取組み

##### (1) 町民図書館の管理運営・整備

- ①「いつでも・どこでも・だれでも」求める資料と情報が入手できるよう、古い資料の除籍・廃棄を計画的に進め、有用資料の更新・追加を定期的に行った。
- ②新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、毎日の館内消毒作業を徹底し、館内閲覧席の利用制限を行いながら開館業務を実施した。また、臨時休館中には、予約貸出し業務を新たに実施し図書館サービスの向上に努めた。

##### (2) 読書活動推進事業

- ①コロナ禍ではあるが、開催時期を調整し、ボランティアの協力のもと、朗読講習会ほか各種おはなし会を概ね計画どおり実施した。
- ②地域のサービス向上を図るため、沢石・御木沢地区館図書室でテーマ展示を新たに実施した。

##### (3) 三春町民図書館開館30周年記念事業

- ①開館30周年を記念し、年間を通じ、記念事業として各種行事に取り組んだ。
- ②図書利用カードを刷新し、5年ごとの更新制を取り入れた。

## 1 基本方針

- (1)みんなが本に親しみ、日常生活に役立つ図書館をめざす。
- (2)利用者の要望を把握し、図書館業務に反映させていく。
- (3)三春の歴史と文化を継承し、豊かな社会づくり、人づくりを支援する。
- (4)各地域へのサービス体系を整備する。
- (5)学校との連携を図り、学習への支援を行っていく。
- (6)町民図書館開館30周年記念事業として各種事業を推進する。

## 2 図書館組織

総括主幹兼館長 1人 主幹 1人 主査 1人 パート職員 2人(内司書4名)

## 3 図書館事業

### (1) 図書館業務にかかる職員研修、会議

- ①研修 3回 参加者：職員4名
- ②会議（県公共図書館協会実務担当者会議） 1回 参加者：職員1名

### (2) 三春町民図書館協議会

三春町民図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関です。

役職	委員名	初期任命日	任 期
委員長	堀 江 恵 子	H18. 11. 1	第16期 R2. 11. 1～R4. 10. 31
副委員長	宗 像 美	H22. 11. 1	第16期 R2. 11. 1～R4. 10. 31
委 員	小 山 保 子	H26. 11. 1	第16期 R2. 11. 1～R4. 10. 31
委 員	橋 本 清 二	H30. 11. 1	第16期 R2. 11. 1～R4. 10. 31
委 員	猪 狩 仁	R2. 4. 1	第16期 R2. 11. 1～R4. 10. 31

会議等名	月/日	場所等	内 容
第1回定例会	6/24	三春交流館 「学習室C」	○平成31年度・令和元年度三春町民図書館事業報告について ○三春町民図書館要覧（令和2年度版）（案）について ○町民図書館開館30周年記念事業について ○規則改正等について ○三春町民図書館郷土資料収集基準の策定について ○その他
第2回定例会	11/18	三春交流館 「学習室C」	○令和2年度前期三春町民図書館事業報告について ○令和3年度三春町民図書館の運営計画について ○三春町民図書館開館30周年記念事業進捗状況について ○その他
第3回定例会	2/17	三春交流館 「楽屋A」	○令和3年度三春町民図書館運営計画について ○「三春町民図書館郷土資料収集基準」策定について ○三春町教育大綱について ○その他

### (3) 図書館ボランティア

図書館ボランティア名簿登録者（27名）による図書館事業への活用を実施。

#### 1) 図書館ボランティアの会議等

①「図書館ボランティアの会」読み聞かせ班打ち合わせ（毎月第3木曜日実施）

わんぱくクラブへの出前おはなし会終了後に、次回話し手当番等を打合せ

（※コロナによる活動延期のため7月から実施）

②「図書館ボランティアの会」全体会（4/7実施）

#### 2) 図書館におけるボランティア活動内容

①読み聞かせ班

後記「読書推進事業」の「おはなし会」出演

②制作班：活動日 毎月第3金曜日

令和2年度活動実績（7月から実施）

実施数	活動者数（人）	内 容
7	23	・手袋人形「三匹のこぶた」 ・そら豆でんでんだいこ ・カレーライスをつくろう ・手袋おもちゃ 2種類

③布絵本グループ：活動日 毎月第2、第4金曜日

※コロナによる活動自粛のため、今年度は活動中止



- ④「生涯学習支援ボランティアの会」：活動日 毎月第2、第4水曜日  
 活動内容：書架整理  
 令和2年度活動実績：22回・80人

⑤個人活動

生け花：随時、図書館入り口に季節の花を生けている。 55回

4 読書活動推進事業

(1) 読書活動事業

1) 館内おはなし会〔ミニおはなし会、絵本とわらべ唄〕

実施計画： ミニおはなし会 随時 職員のみ  
 絵本とわらべ唄 毎月第2火曜日11:00 職員のみ

名称	計画数	実施数	来場数 (人)	備考
ミニおはなし会		7	175	中郷幼・三春小・岩江小・御木沢小・中妻小・中郷小・沢石小
絵本とわらべ唄	10	4	12	

2) 特別おはなし会

ボランティア協力あり

名称	実施日	場所	来場数 (人)	内容
ぬいぐるみのおとしよかんおとまり会	8/6 (木)～ 13(木)	図書館 カウンター前	9	お子さんのぬいぐるみを預かって、おはなし会などを実施
新春おはなし会	1/9 (土)	図書館 カウンター前	16	田村高校JRCインターアクト特別部と協働で絵本・紙芝居の読み聞かせ・人形劇などを実施

3) 出前おはなし会

ボランティア協力あり

各種団体からの依頼を受け、職員とボランティアが各施設に出向いて実施。

保育所、幼稚園、子育て支援センター、小学校等

依頼者	回数	参加人数 (人)
①保育所、幼稚園、子育て支援センター等	28	1,229
内訳 ・町立保育所、幼稚園	18	1,152
・子育て支援センター、ママカフェ、育児サークル	7	71
・町立以外の幼稚園 (富岡幼稚園)	3	6
②児童生活センターほか	18	341
内訳 ・児童生活センターわんぱくクラブ	5	106
・岩江児童クラブ	1	34
・まほらっこ教室	2	53
・私立施設 (ひかり三春教室・NPO法人かたつむり)	10	148
③小学校 (岩江、中郷、御木沢、沢石)	14	393
計	60	1,963

#### 4) 図書館フェスティバル事業

秋の読書週間及び三春町文化祭に合わせ、町民の読書意欲と図書館への関心を刺激することを目的に実施。

事業名	実施日・場所	内容等	参加数等
古本リユース市	R2. 10. 27(火) ～ 11. 1(日) 三春町民図書館	・持寄り提供数：16件、737冊 ・図書館への年間寄贈分から 423冊	提供冊数 1, 160冊
秋のとしょかん福袋	R2. 10. 16(金) ～ 11. 1(日) 三春町民図書館	・テーマ毎に選んだおすすめの本を2～3冊を1パックにして貸し出す。	利用 10件
図書館活用講座&ブックコート体験会	R2. 10. 30(金) 三春交流館 和室	講師：町民図書館司書 図書館活用講座&ブックコート体験会	参加数 7人
特別おはなし会	R2. 10. 31(土) 三春町民図書館 カウンター前	演者：ボランティア6名、職員1名 館内おはなし会の拡大版	参加数 25人
三春町民図書館開館30周年記念パネル展示	R2. 10. 16(金)～ 10. 18(日) 三春交流館 ホワイエ	・図書館の今昔の写真や行事の記録などのパネル展示 ・図書館への寄贈本で登録しないものを無償配布	

#### 5) ブックスタート事業

乳幼児と保護者を対象に「ブックスタートパック」（図書館利用案内等資料、絵本1冊、トートバッグ）を配布。

【実績】12回 91セット

#### 6) 朗読講習会

平成30年度からの企画。生涯学習ボランティアの会との共催で、声に出して読むことの楽しさなどを学習する会。

○開催回数、参加者

- ・開催時期と回数 7月から11月 5回
- ・参加者数 のべ74人

#### 7) その他の読書推進活動

① 例月展示テーマ(下記)を設定し、館内におすすめ資料を展示(70～90冊)

月	テーマ	月	テーマ
4月	桜	10月	紅葉
5月	端午の節句	11月	昭和(歴民企画展にあわせて)
6月	水道週間	12月	クリスマス
7月	三春町民図書館開館30周年	1月	成人の日
8月	山の日	2月	雪
9月	お月見	3月	防災(東日本大震災から10年)

② ミニ展示テーマ設定(随時)(20～30冊)

【コーナー配置場所：雑誌コーナーの隣、ロッカーの上】

「小学校教科書(改訂版)」、「屋内でできる体操」、「古関裕而さん」、「LGBTを読む」、「自殺対策」、「心身の健康」など、主に大人向け

【コーナー配置場所：児童書コーナー内】

「ワクチンってなに?」、「ヨシタケシンスケ」、  
「生誕110年 赤羽末吉さん」など、子ども向け

③ 各種リストなど資料PR物作成

館内、各地区館図書室に配置し、図書館ホームページに掲載 ほか  
保健福祉課・生涯学習課業務連携（新規）

- ・ 新着本／展示資料リスト：毎月発行、一般書と児童書に区分
- ・ おすすめリスト：自宅のできる運動の紹介
- ・ 調べ物ガイド：自由研究・感想文
- ・ 「歯と口の健康週間」「食育月間」へのブックリスト提供
- ・ 明徳大学学習会への図書館チラシ配布
- ・ 新成人への図書館案内配布

④ 出張展示（随時）

歴史民俗資料館、交流館まほらでの開催行事に参加。

- ・ 5月20日～6月14日 歴民春季企画展「ハコ-なにを入れたの？」
- ・ 9月20日～12月10日 歴民ミニ展示「河野広中と普選運動」
- ・ 11月3日～11月8日 文化祭企画展「男女共同パネル展」

⑤ 田村高JRC部員おすすめコーナー（新規）

- ・ 高校生のオススメ本と図書館司書選書本を展示（12月～）

⑥ 季節飾り

- ・ 読書の滝桜：4月7日から5月2日まで（館内）
- ・ 七夕飾り：7月1日から8月5日まで（出入口軒下）

## （2）町民図書館開館30周年記念事業

町民図書館が平成2年7月に開館し、30周年を迎え、記念事業を実施した。

1) 図書利用カードの刷新

- ・ 7月から新プラスチックカードへ順次更新し、5年ごとの更新制とした。

2) 司書体験講座

- ・ 夏休みの3日間に図書館の司書の仕事を体験する講座を実施した。  
8月5日～8月7日 高校生3名参加

3) 広報みはる掲載

- ・ R2.4～R3.3まで図書館に関する記事を掲載。

4) 三春町民図書館開館30周年記念誌作製 150部

5) 町文化祭でのパネル展示（10/16～10/18）

6) 記念講演会「みんなで楽しむおはなしの世界」開催（12/19）

- ・ 子ども向けのおはなし会実演やその技法を学ぶ講演会を実施した。

## （3）関係機関とのネットワーク事業

1) 他図書館等との相互協力

- ・ 国立国会図書館、全国公共図書館、福島県立図書館、福島県内公共図書館との相互貸借や情報共有、研修会参加など

## 2) 「こおりやま広域連携中枢都市圏」連携事業

令和元年10月から、「こおりやま広域連携中枢都市圏」内の住民サービスとして、図書館の広域利用を開始。

- ・広域圏内住民の新規登録者数 35人
- ・広域圏内における情報共有 2件（各自治体内での利用実績、コロナ対策状況）

## 3) 三春町内関係機関との連携事業

### ①各地区館図書室の資料管理

毎月、職員が巡回し、本館の情報提供や図書室の資料整備を実施。

- ・1月から、御木沢・沢石地区館でテーマ展示を開始した。

### ②各教育機関への巡回文庫貸出

小学校、幼稚園及び児童関連施設への読書活動援助のため、各施設を巡回し、配本・回収を行った。

- ・巡回先: 町立小学校6箇所、町立幼・保5箇所、三春幼保園、児童クラブ2箇所、子育て支援センター
- ・配本数: 小学校 220冊、幼稚園・保育所 120冊、児童クラブ 100冊、子育て支援センター 50冊

・巡回日 1回目:6/23-26 2回目:10/20-22 3回目:2/24-26

### ③職場体験など実習受入

実習内容: カウンター業務、書架整理、おはなし会補助など

- ・職場体験者 田村高2年2名受入れ (11/10~11/12)

### ④ 図書館見学受入

- ・町内小学校児童 (主に2年生)

三春小46名、岩江小48名、御木沢小21名、中妻小17名、中郷小8名、沢石小23名

- ・中郷幼稚園児 (3~5歳) 15名

## (4) 図書館管理運営・整備

### 1) 施設管理

随時、関係機関と調整し、実施した。(定期点検を除いたものを下記に掲載)

月/日	内容等
4/14、11/17、2/12	事務室の蛍光灯修理 (NTT管理)
4/17、12/26	展示窓側ブラインド取付け (2カ所)
4/17~7/7	NTT地下工事 (NTT管理)
6/3、2/3	玄関自動ドアセンサー修繕・点検

### 2) 図書館運営

#### ① 新型コロナウイルス感染症予防対策

分類	内容等
臨時休館	4月22日から5月18日まで
勤務体制	在宅勤務半日実施 (4/23-1名、4/24-2名、4/27-1名)
サービス 拡充	4/18~4/21: 雑誌・図書の貸出を1人10冊まで3週間とした。
	5/9~5/17: 予約貸出サービス実施 (58件-177冊)
	4月: 地区館図書室での予約受付開始
	1月: 地区館図書室でのテーマ展示開始 (沢石会館・御木沢地区公民館)

分類	内容等
その他	2/5: ウイルス・インフルエンザ対策特設コーナー設置、コロナウイルス関連リンク集を配布・ホームページに公開（随時更新）
	4/14～: 飛沫ガードビニールをカウンターに設置
	4/16～: 手指消毒液を図書館入口及び蔵書検索パソコン席へ設置
	5/19～: 奥の閲覧席の利用制限（1時間程度）、カウンター前閲覧席（10席→6席）、入口付近のソファ（8席→5席）
	5/20～: 館内消毒拭き取り1日2回実施

## ② 図書館利用サービス拡充

時期	内容等
10月	町民図書館の図書の配置の一部変更（医療・健康、家政学、手芸・料理、育児、芸術・美術・工芸）
12月～	図書館正面ショーウインドウエリアの夜間照明時間延長（21時まで）

## ③ 三春で震度5弱の福島県沖地震発生対応

月日	内容等
2/13	地震直後、館内確認、書籍落下ほか異常なし
2/14	開館前に落下した図書資料整理（1階：約30冊、2階：約300冊）

## 3) 資料整備

収集基準や廃棄基準等に沿って資料の収集、整備等に努めた。

資料収集、廃棄にかかる特記事項を下記に掲載。

- ・ 三春町に関する新聞記事の収集・整理

製本方法：日付順、製本冊数 35冊

- ・ 資料廃棄

月/日	内容等
4/14～21	除籍本配布（カウンター前）
6/20, 21	古雑誌配布（カウンター前）
7/21～8/2	除籍本配布（カウンター前）
9/15～27	除籍本配布（カウンター前）
1/19～31	除籍本配布（カウンター前）
3/2～16	古新聞配布

## 4) 運営及び利用状況のまとめ

①開館日数 266日

②入館者数 24,605人

③個人貸出人数 8,965人

後述の「5 三春町民図書館統計、利用状況」に詳細を掲載。

5 三春町民図書館統計、利用状況

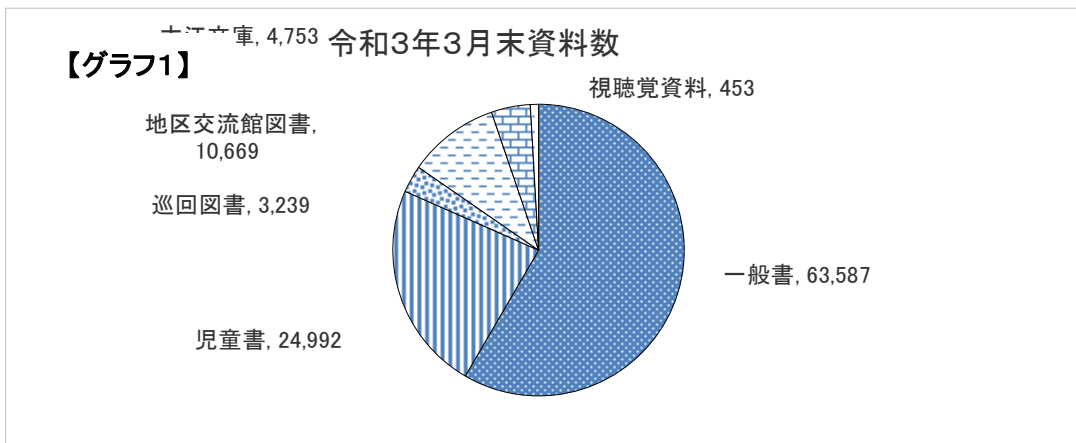
(1) 資料管理

【表1】令和3年3月末 図書館資料数

(単位：点)

分類	R2年 3月末 資料数	R3年3月まで		R3年3月末		
		増加数	減少数	資料数	比率	
図書資料	一般書	63,918	1,666	1,997	63,587	59.3%
	児童書	25,445	712	1,165	24,992	23.3%
	巡回図書	3,300	88	149	3,239	3.0%
	地区交流館図書	11,104	74	509	10,669	10.0%
	大江文庫	4,753	0	0	4,753	4.4%
	小計	108,520	2,540	3,820	107,240	100.0%
視聴覚資料(点)	983	56	586	453		
総計	109,503	2,596	4,406	107,693		

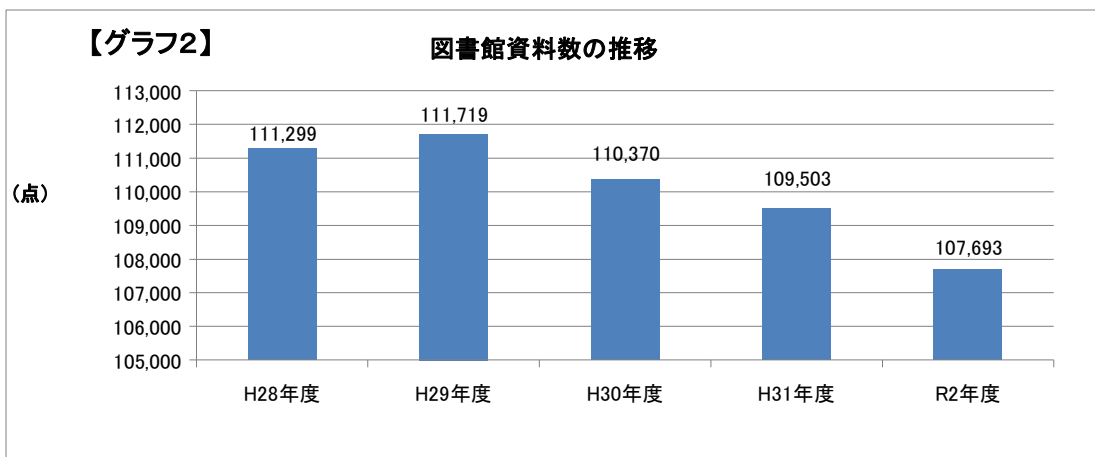
※「増加・減少数」欄は、購入や除籍のほかに場所変更分を含んだ数値です。



【表2】 図書館資料数 (含視聴覚資料) の推移

蔵書数の増加を抑えるために、資料としての価値を見極めながら除籍を進めています。

項目	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
年度末資料数	111,299	111,719	110,370	109,503	107,693
年度中増減数	-145	420	-1,349	-867	-1,810



(2) 利用状況

【表3】令和2年度 月別利用状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開館日数(日)	17	12	24	24	25	24
入館者数(人)	1,735	1,016	2,065	2,230	2,220	2,216
貸出点数(点)	1,922	1,502	4,729	2,743	2,922	2,424
内個人貸出	1,813	1,239	2,292	2,517	2,647	2,241
貸出人数(人)	588	425	761	853	873	795
内個人	575	411	716	830	848	763

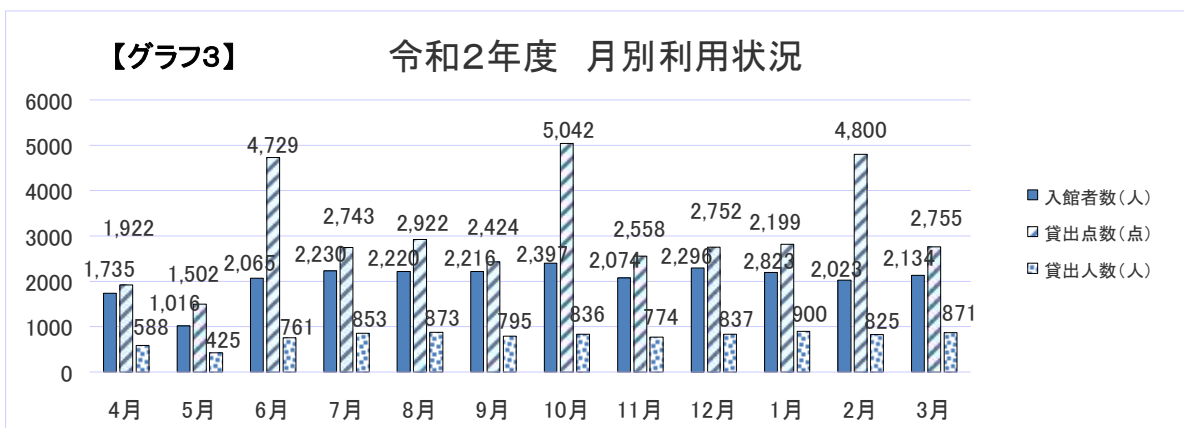
  

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	個人貸出割合
開館日数(日)	25	23	23	24	21	24	266	
入館者数(人)	2,397	2,074	2,296	2,199	2,023	2,134	24,605	
貸出点数(点)	5,042	2,558	2,752	2,823	4,800	2,755	36,972	100.0%
内個人貸出	2,393	2,271	2,445	2,616	2,335	2,498	27,307	73.9%
貸出人数(人)	836	774	837	900	825	871	9,338	100.0%
内個人	781	738	804	871	784	844	8,965	96.0%

※貸出の資料区分の内訳比率:図書 92.5%、雑誌 6.4%、視聴覚 0.9%

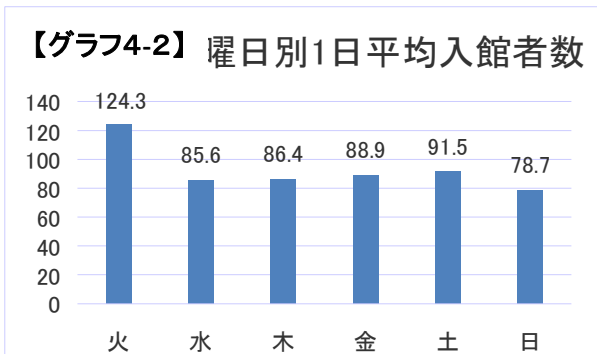
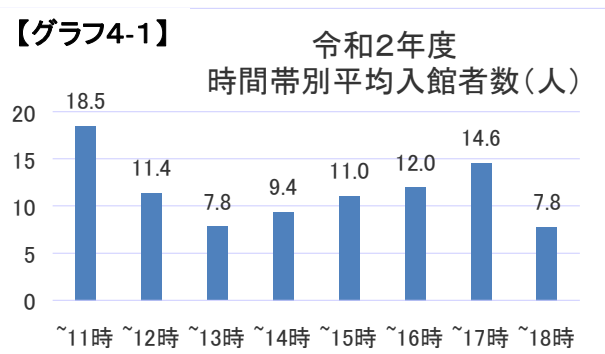
※入館者に対する個人貸出者の割合:36.4%

※6・10・2月の貸出点数が多いのは、「巡回文庫」で貸出したためです。



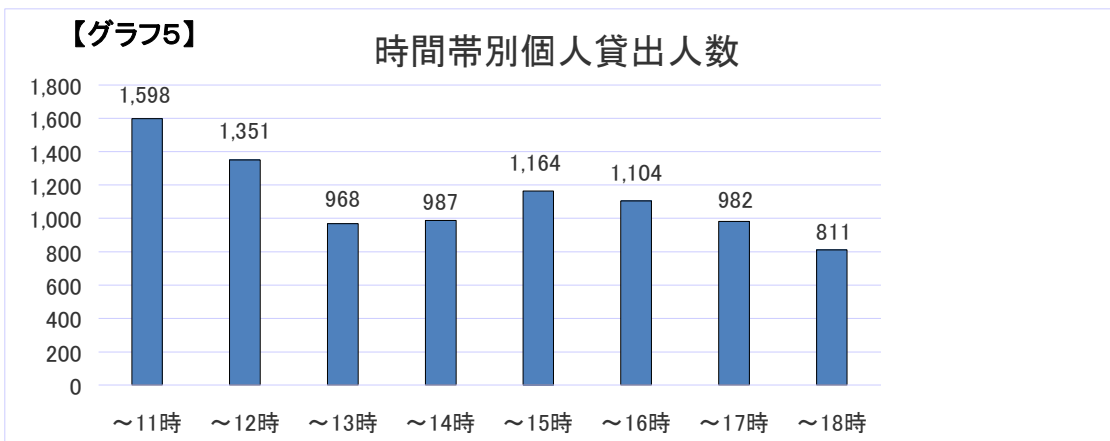
【表4】令和2年度 時間帯別・曜日別入館者数の状況

曜日	集計日数	～11時	～12時	～13時	～14時	～15時	～16時	～17時	～18時	計	1日平均入館者数 <sup>a</sup>
火	44	1,003	615	368	416	489	830	1,370	378	5,469	124.3
水	38	781	421	283	339	348	372	396	312	3,252	85.6
木	45	715	456	383	446	521	475	515	376	3,887	86.4
金	46	762	466	359	333	530	560	665	415	4,090	88.9
土	46	899	570	389	522	583	530	467	250	4,210	91.5
日	47	764	501	298	433	468	424	467	342	3,697	78.7
合計	266	4,924	3,029	2,080	2,489	2,939	3,191	3,880	2,073	24,605	92.5
1日平均入館者数 <sup>a</sup>		18.5	11.4	7.8	9.4	11.0	12.0	14.6	7.8	92.5	



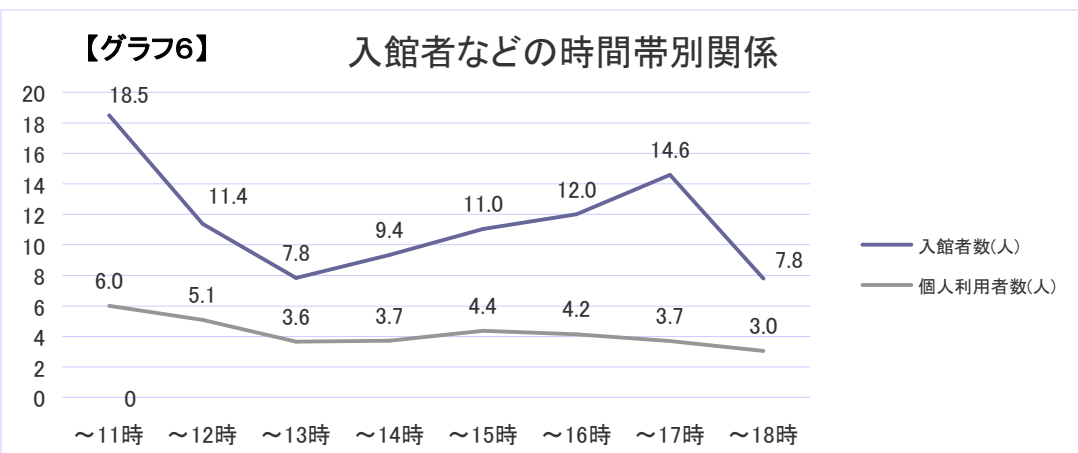
【表5】時間帯別個人貸出人数

時間	～11時	～12時	～13時	～14時	～15時	～16時	～17時	～18時	計	備考
利用者数(人)	1,598	1,351	968	987	1,164	1,104	982	811	8,965	開館日数266日
平均(人)	6.0	5.1	3.6	3.7	4.4	4.2	3.7	3.0	33.7	
割合	17.8%	15.1%	10.8%	11.0%	13.0%	12.3%	11.0%	9.0%	100.0%	



【表6】R2 入館者数、個人利用者数の時間帯別関係

項目	～11時	～12時	～13時	～14時	～15時	～16時	～17時	～18時	計	備考
入館者数(人)	18.5	11.4	7.8	9.4	11.0	12.0	14.6	7.8	92.5	R2年度の1日の平均値です。
個人利用者数(人)	6.0	5.1	3.6	3.7	4.4	4.2	3.7	3.0	33.7	



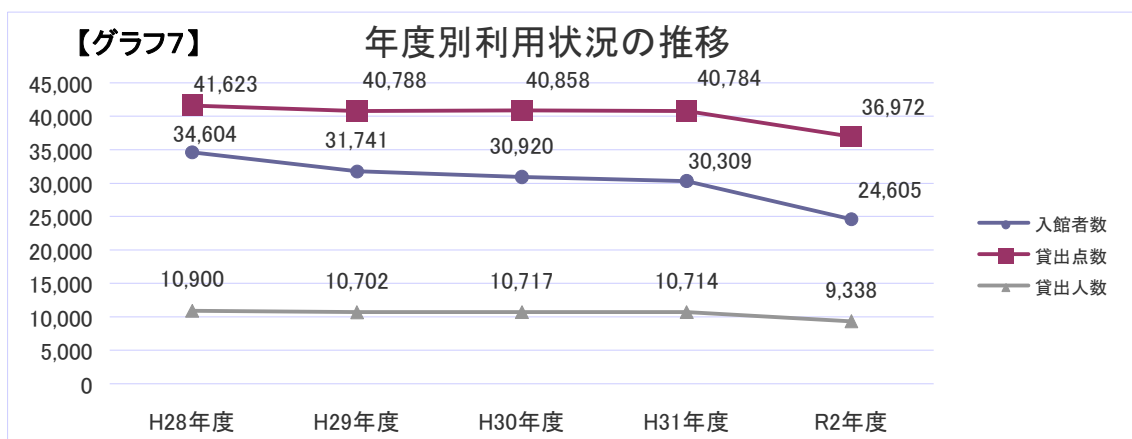
【表7】年度別利用状況の推移

項目	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度
入館者数	34,604	31,741	30,920	30,309	24,605
貸出点数	41,623	40,788	40,858	40,784	36,972
個人	30,876	30,669	30,806	31,275	27,307
貸出人数	10,900	10,702	10,717	10,714	9,338
個人	10,479	10,250	10,271	10,305	8,965
開館日数	286	281	286	283	266

1日あたりに換算

入館者数	121	113	108	107	93
貸出点数	146	145	143	144	139
個人	108	109	108	111	103
貸出人数	38	38	37	38	35
個人	37	36	36	36	34





(3) 図書館運営状況

【表8】利用者状況（1年以内に利用した人数）

年齢別

（単位：人）

性別	年齢（歳）												合計
	～6	7～9	10～12	13～15	16～18	19～22	23～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	
男	35	42	23	4	3	6	9	26	34	47	105	124	458
女	31	47	41	18	18	21	27	124	140	133	185	150	935
計	66	89	64	22	21	27	36	150	174	180	290	274	1,393

地区別

（単位：人）

項目	旧町								沢石	要田	御木沢	岩江	中妻	中郷	合計
	大町	中町	八幡町	荒町	北町	新町	八島台								
個人	50	43	85	93	50	131	214	55	61	145	180	52	122	1,281	
団体	25	0	0	11	0	4	5	6	4	2	9	2	15	83	

【表9】予約件数推移

（単位：点）

年度	一般書	児童書	雑誌	視聴覚	合計	対前年度比
H30年度	233	25	34	0	292	99.7%
H31年度	213	21	31	0	265	90.8%
R2年度	245	14	26	1	286	107.9%

【表10】リクエスト対応件数推移

（単位：冊）

年度	購入	相互借受	合計	対前年度比	相互貸出
H30年度	260	69	329	80.0%	40
H31年度	199	91	290	88.1%	29
R2年度	217	82	299	103.1%	11

【表11】相互貸借の推移

年度	貸出									
	県内		県外				その他		計	
			(北日本)		(左以外)					
件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	
H30年度	28	34	3	3	1	3	0	0	32	40
H31年度	22	28	1	1	0	0	0	0	23	29
R2年度	10	10	1	1	0	0	0	0	11	11

年度	借 受											
	県内		県立 図書館		県外				その他		計	
					(北日本)		(左以外)					
件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	
H30年度	20	26	31	38	5	5	0	0	0	0	56	69
H31年度	21	22	22	51	9	9	4	4	3	5	59	91
R2年度	19	30	21	45	5	7	0	0	0	0	45	82

【表12】レファレンス受付件数 (単位：件)

年度	所蔵 案内	対前年 度比	調査 相談	対前年 度比	合計	対前年度比
H30年度	875	82.0%	55	98.2%	930	82.8%
H31年度	1,046	119.5%	47	85.5%	1,093	117.5%
R2年度	951	90.9%	52	110.6%	1,003	91.8%

※用語説明

レファレンス(reference service)：図書館利用者が、学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館職員が情報そのものあるいはそのために必要とされる資料を検索・提供・回答することによってこれを助ける業務

【表13】インターネット用PC利用申込数 (単位：件)

年度	小中高 生	一般	合計	対前年 度比	備 考
H30年度	6	52	58	89.2%	
H31年度	1	39	40	69.0%	
R2年度	3	11	14	35.0%	

(4) 地区交流館図書室の図書貸出状況

地区交流館名 利用階層		沢石会館		御木沢 地区公民館		岩江 センター		中妻地区 公民館		中郷地区 交流館		合計	
		中学 生 まで	大人	中学 生 まで	大人	中学 生 まで	大人	中学 生 まで	大人	中学 生 まで	大人	中学 生 まで	大人
H27年度	利用者(人)	4	0	0	0	175	54	5	16	31	4	215	74
	貸出数(冊)	4	0	0	0	429	101	7	38	107	16	547	155
H28年度	利用者(人)	0	3	85	71	134	50	14	5	44	7	277	136
	貸出数(冊)	0	5	0	0	134	52	43	9	132	28	309	94
H29年度	利用者(人)	0	5	26	6	285	43	27	7	33	2	371	63
	貸出数(冊)	0	10	4	0	810	80	71	17	64	3	949	110
H30年度	利用者(人)	0	0	0	0	259	62	0	0	21	1	280	63
	貸出数(冊)	0	0	0	0	785	117	0	0	67	2	852	119
H31年度	利用者(人)	0	1	1	0	158	36	2	0	0	0	161	37
	貸出数(冊)	0	1	2	0	398	53	2	0	0	0	402	54
R2年度	利用者(人)	0	0	2	1	427	2	1	21	0	0	430	24
	貸出数(冊)	0	0	4	2	1,185	2	1	21	0	0	1,190	25

※御木沢地区は平成28・29年度は閲覧利用者数も計上。

その他の地区は貸出者数・冊数を計上。

※平成31年度は、令和元年度に読み替える。(5月1日から令和元年)

## 児童生活センター

### 令和2年度重点施策の進捗状況

#### 1 放課後子ども総合プラン推進事業に関する取り組み

##### (1) 児童クラブ運営事業

放課後留守家庭となる児童が過ごす居場所として、三春小学校区（わんぱくクラブ）・岩江小学校区（岩江児童クラブ）・御木沢小学校区（御木沢児童クラブ）で放課後児童クラブを運営した。

児童クラブの特色である保護者会を中心とした親子行事や、地域の方々との交流事業等があるが、新型コロナウイルス感染が心配されたことから、事業の中止や内容を変更せざるを得なかった。その中でも感染予防に努めながら創意工夫し活動を実施した。

##### (2) まほらっこ教室運営事業

放課後の児童の安心・安全な居場所として小学校の空き教室や体育館又は地区の公民館を利用して地域のボランティアの方々との協力をいただき、全小学校区でまほらっこ教室を運営した。

また、児童クラブのない地域では、延長・長期休業中教室を実施した。毎年夏休み教室を開催し、異学年交流や地域間交流を行っているが、新型コロナウイルスの感染が心配されたことから中止せざるを得なかった。夏休み教室は中止となったが、感染防止対策を徹底し活動が制限される中ではあるが、各教室とも工夫しながら、異学年交流を行った。

##### (3) 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令により、4月21日から5月19日まで小学校が臨時休業となったが、わんぱく・岩江・御木沢児童クラブ、中妻・中郷・沢石まほらっこ教室は長期休業中と同様の時間帯で運営した。

両事業とも異年齢集団であるため、これまで以上に感染対策に気を配り事業を実施した。

#### 1 運営方針

- (1) 異年齢集団など、仲間との人間関係を広げる。
- (2) 子どもの自主的・自治的活動体験を豊かにする。
- (3) 地域の関係団体や地域住民との交流を図る。

#### 2 職員(令和3年3月現在)

所長1人、主任主査(再任用)1人、主査2人、主事1人、会計年度任用職員24人

計29人(内 放課後児童支援員 有資格者 21人)

まほらっこ教室コーディネーター2人、ボランティア35人

### 3 令和2年度事業

#### (1) 放課後子ども総合プランの推進

放課後の安全・安心な居場所づくりをさらにより良いものとするため、放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会を開催し、各委員から質問、意見等をいただいた。

##### ①放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会委員

(任期2年：平成31年4月1日～令和3年3月31日)

委員長 吉川 久三	副委員長 猪狩 仁	鈴木 伸一	佐久間 収明
丹伊田 美保	押山 道子	金田 義隆	宗像 以知子
梶原 和則	篠原 晶子	中村 陽子	宗像 幸子

##### ②放課後子ども総合プラン推進事業運営委員会実施状況

事業名	数	時期	内容	場所
第1回委員会		5月29日	・コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催及び委嘱状送付（令和2年度実施計画・体制等について）	
		7月1日	・質問、意見に対する回答送付	
第2回委員会	12名	11月13日	事業中間報告 次年度の運営について	三春交流館「まほら」 ホワイエ
第3回委員会	12名	2月16日	令和2年度事業結果報告 令和3年度事業計画審議 教育大綱(案)について	

#### (2) 放課後児童健全育成事業（児童クラブ）

##### ①実施状況

(令和3年3月末現在)

クラブ名	定員	4月 児童数	3月 児童数	職員数	実施場所 開設日	開設日数
わんぱくクラブ	70名	67名	65名	9名	三春小学校西校舎1階 月～金・第3～第5土曜日	年間 269日
岩江児童クラブ	60名	70名	64名	8名	岩江センター 月～金・第2土曜日	年間 254日
御木沢児童クラブ	30名	34名	35名	4名	御木沢小体育館 月～金・第1土曜日	年間 253日

②令和2年度岩江児童クラブの長期・延長利用状況

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通常利用 (8:30～18:00)	66	66	63	59	60	60	60	60	60	60	60	60	734
長期利用 (7:30～18:30)	14				38				4	17		29	102
長期のみ利用 ※(夏・冬・春休み)	4				(4)				(4)	(4)		(4)	4
延長利用 (18:30まで)	9	28	13	11		13	10	11	11	6	8	12	132
利用合計(のべ)	93	94	76	70	98	73	70	71	75	83	68	101	972

※「長期のみ利用」については、年間を通しての利用者、「長期利用」「延長利用」については、「通常利用」の内数  
 ※8月の延長利用分は9月に含まれている。

③児童クラブ運営

総事業費	67,691,525円
収入	<b>【保護者負担金】</b> 保護者協力金 2,479,000円 スポーツ安全保険料 138,400円
	<b>【補助金】</b> 子ども・子育て支援交付金(国1/3) 13,834,000円 内 新型コロナウイルス感染症対応分 ・臨時休業時特別開所分 86,000円 ・感染拡大防止分 325,000円(国10/10) 子ども・子育て支援交付金(県1/3) 13,509,000円 内 新型コロナウイルス感染症対応分 ・臨時休業時特別開所分 86,000円
主な支出内容	<b>【新型コロナウイルス感染防止対策】</b> ○飛沫防止パーティションの購入(子ども・子育て支援交付金(感染症対応分)対象) わんぱくクラブ 91,080円 岩江児童クラブ 106,260円 御木沢児童クラブ 78,870円 ○児童用テーブルの購入(新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金対象) わんぱくクラブ 198,000円 岩江児童クラブ 356,400円 ○ジョイントクッションの購入(新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金対象) 岩江児童クラブ 314,160円 御木沢児童クラブ 130,900円 ○消毒用アルコール、ハンドソープ外購入 各児童クラブ合計 53,512円(子ども・子育て支援交付金(感染症対応分)対象) 96,909円(新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金対象)
	<b>【設備関係】</b> 御木沢児童クラブ空調設備更新工事 360,800円(故障のため)

④安全対策（避難訓練）

クラブ名	月 日	想 定	内 容
わんぱくクラブ	6月25日	地 震	避難時の注意事項説明、三春小校庭へ避難、まほらっこ教室との合同訓練
岩江児童クラブ	4月9日	交通安全 防犯	新入児を対象に登下校の仕方や危険な場所で遊ばないこと、不審者についていけないことを指導
	6月26日	火 災	避難時の注意事項説明、岩江小校庭へ避難
	9月23日	地 震 火 災	避難時の注意事項説明、岩江小駐車場へ避難
	10月27日	ミサイル発射	Jアラート発令、頭を守る姿勢をとり避難の仕方の訓練
	11月16日	防犯	不審者が侵入時の移動訓練
御木沢児童クラブ	5月29日	地 震	避難時の注意事項説明、御木沢小校庭へ避難。
	10月16日	火 災	避難方法・注意事項を確認。御木沢小校庭へ避難。
	10月21日	火 災	10月16日の反省を踏まえ、再度実施。

⑤今年度の主な実施事業

ア 各クラブ年間季節行事

◎すべての児童クラブにおいて毎月けん玉検定を実施

月	わんぱくクラブ	岩江児童クラブ	御木沢児童クラブ
4月	入所式（4日） 母の日プレゼント制作（ハーバリウム・メッセージカード）	入所式（4日） 交通安全指導・防犯指導（9日：16名） 母の日プレゼント制作（ハーバリウムボールペン・メッセージカード）	入所式（4日） お花見（13日：33名） 母の日プレゼント制作（ティッシュ箱ケース・メッセージカード）
5月	キーホルダー制作	父の日プレゼント制作（ハーバリウムボールペン、メッセージカード）	父の日プレゼント制作（マルチボード・メッセージカード） 避難訓練（29日：23名）
6月	避難訓練（25日：49名） 父の日プレゼント制作（メッセージ入りフォトフレーム） 七夕飾り制作・飾り付け	避難訓練（26日：45名） 七夕飾り制作・飾り付け	七夕飾り制作・飾り付け
7月	七夕集会（6日：15名）	おはなし会 「紙芝居・歌あそび」（22日：31名）	
8月	水鉄砲大会（4日：51名） スライムづくり（18日：45名） セレクトおやつ（21日：69名） 敬老園へのプレゼント制作（写真・メッセージ立て）	縁日（12日：50名）	お店屋さん（6日：33名） すいか割り大会（7日：34名） リアル人生ゲーム（12日：29名）
9月	敬老の日プレゼント制作（コレ	敬老の日プレゼント制作（メッ	敬老の日プレゼント制作（ぺん

	クッションケース・お守り型メッセージカード) スクラッチアート	セージカード入りアクリルボード) 避難訓練 (23日:45名)	立て・メッセージカード)
10月	ハロウィン制作 チューリップの球根植え (13日:19名)	避難訓練 (27日:53名) 三春町文化祭用作品制作(ちぎり絵)	避難訓練 (16・21日:34名) ハロウィン制作 (26日:28名)
11月	三春町文化祭参加 干支張子の絵付け クリスマス制作	三春町文化祭参加 避難訓練 (16日:53名)	三春町文化祭参加 チューリップの球根植え 干支張子の絵付け
12月	スノードーム制作 クリスマスイベント (16日:63名)	クリスマスお楽しみ会 (2日:58名)	クリスマスお楽しみ会 (21日:34名)
1月	ミニオンボウリング大会(6日:56名) ベーゴマ教室 節分制作	初詣(直毘神社)(5日:23名) 節分制作	初詣(八雲神社)(7日:28名) スクラッチアート(18日:30名) なわとび大会(22日:35名) 節分制作
2月	節分集会(2日:57名) ひなまつり制作 プラ板制作		節分集会(2日:34名) ひなまつり制作 終了制作
3月	終了児制作 終了式(22日)	終了式(24日:55名)	終了式(23日)

#### イ 地域に拓く活動(土曜・長期休業など)

児童生活センター事業として、関係団体や地域住民との交流を図り、異年齢集団における仲間との人間的関わりを広げる事業として、地域に拓く活動を行っているが、新型コロナウイルス感染症のため、実施を見合わせたものもあり、例年に比べ実施回数は減った。

第1土曜日は御木沢児童クラブ、第2土曜日は岩江児童クラブ、第3～第5土曜日はわんぱくクラブを開所し、通常預かりや自由参加による下記事業を実施した。

(令和3年3月末現在)

事業名	実施日	実施内容	人数	
◎体育館で遊ぼう (御木沢児童クラブ) ※体育館で体を動かして遊ぶ。	第1土曜日 (自由参加)	8月1日	花いちもんめ	7名
		9月5日	だるまさんがころんだ	5名
		10月3日	かごめ かごめ	5名
		11月7日	落とさず捕まえろ	9名
		12月5日	長縄遊び	8名
◎料理教室 (岩江児童クラブ) ※作る過程、食べる楽しさ、食物の大切さを学ぶ。	第2土曜日 (自由参加)	10月10日	プリンアラモード	9名
		12月12日	トナカイポップケーキ	10名
		2月13日	ホケミ☆チョコマフィン	10名
◎ボランティア活動 (わんぱくクラブ) ※活動を通し奉仕の心を育てる。	第3土曜日 (自由参加)	9月19日	三春周辺・校庭清掃活動	4名
		1月16日	ボランティアへのプレゼント制作	6名

◎ミニシアター (わんぱくクラブ) ※昔話などの読み聞かせや映画・ビデオ上映により豊かな心を育む。	第3土曜日 (自由参加)	9月19日	絵本2、紙芝居1、DVD3	3名
		1月16日	絵本3、紙芝居1、DVD2	9名
◎おりがみ教室 (わんぱくクラブ) ※各種の折り紙に挑戦し、想像力を養う。	第3土曜日 第4土曜日 第5土曜日 (自由参加)	8月29日	魚つりをしよう	12名
		10月24日	秋のリースを作ろう	5名
		2月20日	ひなかざりをつくろう	5名
◎理科クラブ (わんぱくクラブ) ※自然観察ステーション事業へ参加し研究心を育む。	第3土曜日 第4土曜日 (自由参加)	9月26日	陶芸教室	12名
		11月21日	つるクラフト教室	12名
		2月27日	野鳥観察	10名

(2) 放課後子ども教室推進事業 (放課後子ども教室)

全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようまほらっこ教室を開設し、児童クラブのない地域では、延長教室・長期休業中教室を実施した。

① 実施状況

(令和3年3月末現在)

教室名	区分	小学校区	登録児童数	指導員等	開設日	開設日数		
三春教室	通常	三春小学校西校舎1階	32名	7名	月曜～金曜	160日		
岩江教室	通常	岩江小学校体育館	67名	7名	月曜～金曜	162日		
御木沢教室	通常	御木沢小学校音楽室	14名	6名	月曜～木曜	89日		
中妻教室	通常	中妻地区公民館	47名	6名	月曜～金曜	197日		
	(延長)		36名			2名※1	197日	
	(長期)		37名				36日	
中郷教室	通常	中郷地区交流館	62名	6名	月曜～木曜	152日		
	(延長)		47名			2名※1	月曜～金曜	197日
	(長期)		40名					36日
沢石教室	通常	旧沢石地区福祉館	40名	3名	火曜～木曜	126日		
	(延長)		39名			4名※1	月曜～金曜	197日
	(長期)		39名					36日
小計	通常教室		262名	35名		平均147日		
	(延長教室)		122名	8名※1		平均197日		
	(長期教室)		116名			平均36日		
合計			262名	43名				

※1 放課後児童支援員(会計年度任用職員)



②まほらっこ教室運営

総事業費	19,582,422 円
収入	【保護者負担金】 スポーツ安全保険料 220,800 円
	【委託金】 地域学校協働本部事業（放課後子ども教室）（県 10/10） 8,078,011 円 ※報酬費等除く
主な支出内容	【運営関係】
	まほらっこ教室ボランティア報償費 7,302,675 円
	放課後子ども総合プラン推進事業運営委員報償費 63,000 円
	施設等修繕費（まほらっこ沢石教室ブラインド外） 180,136 円
	【新型コロナウイルス感染防止対策】
飛沫防止パーテーションの購入 126,720 円	
消毒用アルコール、ハンドソープ外購入 161,179 円	

③まほらっこ教室活動事業

ア まほらっこ教室訪問

○英語教育助手の教室訪問

各まほらっこ教室へ英語教育助手が月 1 回から 2 回訪問し、ボール遊びやゲームをしたり異文化交流を行っているが、新型コロナウイルス感染防止のため、訪問はなかった。

○県中教育事務所による教室訪問

県の地域学校協働本部事業（放課後子ども教室）の推進を図るため、まほらっこ教室の訪問が実施された。

教室名	時期	内容	参加者	場所
まほらっこ岩江教室	9 月 9 日	・子ども教室運営及び活動内容について意見交換 ・子ども教室参観	県中教育事務所社会教育主事 2 名・所長・担当・コーディネーター 1 名・指導員 4 名	岩江小学校 体育館

○地域学校協働本部事業第 2 回評価・検証委員会による視察

地域学校協働本部事業（放課後子ども教室）まほらっこ中妻教室の視察が実施された。

教室名	時期	内容	参加者	場所
まほらっこ中妻教室	11 月 26 日	・放課後子ども教室とコミュニティスクールについて町の取組を説明及び意見交換 ・子ども教室視察	県社会教育課 5 名・県中教育事務所 1 名・評価検証委員 8 名・所長・担当・コーディネーター 2 名・会計年度任用職員 2 名・三春町教育課指導主事 1 名	中妻地区 公民館

イ まほらっこ教室安全管理員・活動指導員・放課後児童支援員訓練・研修等

事業名	参加人数	実施日	内容	場所
安全管理員・活動指導員等事前打合せ			コロナウイルス感染拡大防止のため委嘱状交付及び打合せ資料の配付	各教室
避難訓練（地震想定）	182 名	6 月 5～ 6 月 25 日	・施設内での身の安全の確保法講習 ・避難訓練（児童も一緒に実施） ※三春教室は児童クラブと合同実施	各教室

放課後児童支援員認定資格研修	3名	11月19～ 12月5日	・放課後児童支援員として必要最低限の知識・技能の習得 ・実践する際の基本的な考え方や心得を認識する	郡山市 労働福祉会館
ボランティアコーディネーター養成研修会	19名	11月21日	「ボランティア活動の意義とコーディネーターの役割について」 講師 全国体験活動ボランティア活動総合推進センター コーディネーター 橋本 洋光 氏	三春交流館 「まほら」
「家庭教育応援リーダー育成事業」県中域内家庭教育支援者研修会	1名	11月28日	「家族の変化と地域の家庭教育支援」 講師 郡山女子短期大学部地域創成学科教授 知野 愛 氏 他	郡山市 労働福祉会館

※コーディネーター・安全管理員・活動指導員・放課後児童支援員合同打合せを随時実施

#### (4) 新型コロナウイルス感染症対策

##### ①新型コロナウイルス感染症対策の経過

時 期	内 容
前年度から～	・手洗い・うがい・手指消毒・マスク着用の徹底
4月10日～	・毎日施設内のアルコール消毒開始 ・事務室内へ飛沫ガードビニール設置
4月13日～	・職員・ボランティア指導員等体温測定・体調管理開始
4月21日～5月19日	・新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発令により小学校休業。わんぱく・岩江・御木沢児童クラブ、中妻・中郷・沢石まほらっこ教室は長期休業中と同様の時間帯で実施。三春・岩江・御木沢まほらっこ教室は休所。 ・特別支援介助員へ応援依頼。

##### ②児童クラブ・まほらっこ教室での対策

クラブ・教室名	内 容
全クラブ・全教室共通	・手洗い・うがい・手指消毒・マスク着用の徹底 ・毎日施設内のアルコール消毒実施 ・職員・ボランティア指導員等体温測定・体調管理を毎日実施 ・児童使用のテーブル席へ飛沫防止パーテーションの設置 ・昼食時等は一方向を向いて飲食 ・来館者へ連絡先等の記録票記入を徹底 ・定期的な換気の実施
児童クラブ	・規模を縮小して入所式実施、保護者会総会中止 ・土曜日・長期休業中開所時の児童体温等調べ実施 ・4月～7月の地域に拓く事業を中止 ・岩江・御木沢児童クラブの文書箱を教育課へ設置 ・4月21日～7月末まで、土曜日は開所している児童クラブに登録している児童のみ利用。 ・各児童クラブの親子行事（夏祭り）中止
まほらっこ教室	・3密を避けながら開所式実施 ・長期休業中教室の児童体温等調べ実施 ・夏休み教室の中止 ・コーディネーターの勤務場所をまほらの楽屋へ変更

